

# 育教兒幼

號一十十第 卷二十二第

行發日五十月一十年一十正大

## 目 次

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 體育と幼稚園          | 富永たか子 |
| 異常兒童の身體的特徵(三)   | 寺澤 嚴男 |
| 動物虐待の心理的考察      | 廣井辰太郎 |
| 童謡二つ            | 茂子由子  |
| チフテリヤの話         | 宇都野 研 |
| 過去十箇年           | 中島しげ子 |
| 消化不良に對する家庭手當法   | 會澤タカエ |
| 女兒の下著兼用スウエーター   | 依田春子  |
| 福岡幼稚園だより        | 萩野ヒサ子 |
| 新案幼稚園観物         | 物教育協會 |
| シカゴ及コロソヒヤ大學の幼稚園 | 倉橋惣三  |

### 雜 築

獨逸フレーベル會のために——女學校同窓會の幼稚園——信州上高井幼稚園

——福島縣保育大會——松村博士「童話と兒童の研究」——「幼兒の研究」の創

刊——大日本家庭幼稚園の事業

### 謹 告

獨逸フレーベル會寄附金募集

會協園幼稚本日

## 會 告

本誌十月號は都合により休刊、本號の頁數を  
増加し、第十、十一號として號を合することと  
しました。其の趣は會員各位に對し、一々  
葉書を以て御通知いたしましたが、或は御通  
知漏れ等もないと限りません。若し左様のこ  
とがありましたら、深く御寛恕を乞ふ次第で  
あります。

尙ほ、本誌も來年よりは、更に其の内容を充  
實し、幼稚園は勿論、家庭問題、社會問題、  
學校問題としての幼兒教育一般の上につとめ  
て直接有益ならしめたいと期して居ります。  
會員諸君の更に一層の御同情を乞ひます。

## 本誌定價

一冊(郵稅共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢  
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割增)

## 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ  
込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六  
番)

大正十一年十一月十二日印刷  
大正十一年十一月十五日發行

編輯兼發行者 倉 橋 惣 三  
東京市外中野町千光前三〇三〇番地

印 刷 者 栄 山 則  
東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
合資會社 杏 林 常

發 行 所 日 本 幼 稚 園 協 會

# 幼兒教育

第二十二卷 第十二號

大正十一年十一月十五日發行

## 體育と幼稚園

日本體育學校教授 富永たか子

○

體育、國民體育は今や昇天の勢で盛になつて參りました。これ二十世紀的一大賜物でございまして、これによつて人類生活の向上發展も炎上し、文明も日に進み、諸種の運動も之れに伴つて白熱化してまゐりますやうになりました。しかし此の體育といふ事は、古い昔から心育よりも軽く見られて居りました思想が消えず、體育の隆盛になりました今日、未だ我が國におきましては、教育は心育であつて體育は其の補助手段ぐらゐにしか思つて居らない方が殘念ながら多いやうでございます。

そこで身體が壯健であれば隨つて脳髄も丈夫であり、精神を宿して居るところの脳髄が完全であれば精神も健全になることは言を俟ちません。健全なる精神は健全なる身體に宿るといふ希臘の格言は此處の事でありまして、脳髄が健全なれば動作の機敏耐久精神の快活剛毅などの諸徳は容易に養成され、常

一體體育といふことは、身心一致の行動をすることいふことにあるのであります、生理學に於ても心理學に於きましても、靈肉は一體であつて昔の人の

一(297)

識の發達品性の向上等、精神上の目的も達することが出来ます。

世は日一日と文化してまゐります。此の世の中の要求に従つて能率を向上させてまゐりますには、どうしても健全な身體と健全な精神とが伴はなくてはなりません。古代希臘の文化はスバルタ・アテナの身心二育主義の賜物であり、近世獨逸の勃興はヤーン・シルレルの権化であります。

惟ふに全く教育の基礎は體育にあるのでありますて、心育も亦體育に立脚點をおかなければ完全には行へないのでござります。

らないやうになつてまゐりました。あゝ矢張り人間も麻の中に育たなければならないものではないでございませんか。大人は大人、青年は青年、少年は少年、幼年は幼年と、それぐ其の度に應じた體育を必要として居ります。近頃獨逸では、運動によつて筋肉能力を利用する幼児の爲めの體育をさへ施して居るものがあります。

雨にさらされ風に吹かれ、鳥に啄められ人に踏まれて生長する蓬は、我が儘な振舞をして路傍にやせながら生いたつて居りますが、麻の中に育つた蓬は真直におだやかに生長してまゐります。之れが不然であり前者が自然であるかも分りませんが、私はこゝに麻の中に真直に育つた蓬をかり、正しいものとして例に引いて見たいと思ひますのは、環境により、境遇により、自然により、其他千差萬物の種々の事情によつて、矢張り人間も體育をしなければな

幼稚園は其の保育事業として遊戯・唱歌・談話・手技をなすのでありますから、義務教育を施す小學校とは異つて、體育方面におきましても積極的の精神を要する體操といふよりも、知らず／＼の間に運動となり、合せて規律協同の良習慣を養ひ得る遊技が何よりであると存じます。子供は別に何の刺戟がなくとも何かしら活動しなければならない特性を有して居るものでありますて、此の幼兒期に於ける小供の活動は亦著しいものでございますが、其の活動は單に遊ぶといふことに止つて、別に何等の意義もなく目的もない活動であります。故に其の運動は正確を缺き、ために持つて居るものを持ち落したり、亦小供は頭が比較的大きく胸が長くて足が短うございますか

ら平均がとりにくく、ために時々ころんだり致しますから、物を破壊し衣服を汚すなど親泣かせの時でありますけれども、グロースの云ふた通り遊戯によつて自分を教育しつゝあるのでありますから、それを差し止めるが如きことなく、良い遊戯へと導くやう致したいものでございます。フレーベルが動作遊戯を幼稚園児に創めて授けましたのは最も當を得たことでございました。

幼児期といふ時代は栄養本能が強く、消化系統が中心となつて食べたり飲んだりすることが盛に行はれます、これは生長しなければなりませんからでございますけれども、之れが爲めに胃腸を害することがあります。

若し此の間家庭に在ります者は、母や下婢を相手に我が意のまゝに我意を張り、食物の如きも何の時間的制限もなく、至つて無秩序なる終日を送るのであります。けれども園児は之れに反し、起牀の時間より歸宅まで萬事規律正しき生活を致しますがために體を害ふ懸念も少く、自分の事は自分でするといふ幼児には何より大切な此の良習慣は幼稚園に於て養はれます。かくの如き良習慣は家庭では容易に

爲し得ません。此の秩序正しき生活は大いに攝生にかなひ、體育上積極的の運動と相俟つて必要のことですございます。其の運動をして小供の本能化するやうに導くためには、幼い兒童に運動をするといふ片苦しい束縛的の興味のないことは止めて、運動を習慣づけるための手段として兒童の眞の活動其のまゝを利用し、興味につれて行はしめ、漸次運動の必要を體得せしめますやうにしなければなりません。

何しろ運動と申しますと主として筋肉を使用するのでありますが、筋肉は人を造るといふ西諺の如く、運動では筋肉使用を最良として居ります。身體の筋肉は重量から申しましても人體の殆ど半分を占めて居るのでありますから、筋肉を使用すればそれに従つて血液循環をよくし、酸素の要求につれて呼吸を盛にし、全身の諸機關の働きによつて新陳代謝を増すなど好結果を來す最良方法でございますから、兒童の本能として愉快に夢中にする間に右の効果を收めさせるやうに致したいと思ひます。

運動には精神が伴はなければ、即ち無意識の運動は體育の目的には適ひません。けれども幼稚園の保育事業としてはそれ迄爲すべきものではありません

ん、之れに關していづれ後日申上りたいやうな氣が致します。

日本人は一體眞似の上手な國民だそうでございまして、其の缺陷を云へば創造の力に乏しいと云ふことであります。即ち新規に造るオリジナリティーの力に乏しいのであります。故に新規なものが出来たら其れを眞似ようと待つて居りまして、自分で新規な方法を考へてしようとは致しません。よいと思ふとそれを輸入したのみで工夫もせず規則大事と千偏一律にして居ります。かゝることなく成可く子供の好みに應じて無味乾燥を避け、面白く運動をさせ。さうして児童の體力の練磨體格の増進といふことを考へて頂きたいものでございます。

實際我々は毎日家庭の人として生存する所が多いのでありますから、家庭體育の如何は忘れるここの出來ない重大なことでございまして、之れが改善向上は忽に出來ないことでございます。故に舊習を打破するといふことは困難ではありますが、よりよい事が見つかりましたならば、何時でも改良を加えて時代に適したよい生活を致したうございます。先づ

日本の家庭の標準となるべき一家の主人公の遊戲の方法が、外國のそれと異り、體力を進める云ふ事よりも、却つて體力を殺ぐ方が多いやうであります。西洋人は老人でも集りさへすれば遊ばうではありますか、散歩致しませうと云ふては公園とか郊外に出掛けますが、日本では先づ座敷に火鉢を引き寄せて雪見をしつゝお料理に喜び、その掲句碁や將棋で遊ぶと云ふ有様でございます。そんな時子供をつれて郊外に出て新鮮な空氣の中に快さを味はしめ、運動を自ら好むやうに家庭から體育的獎勵に努力して頂きたいと思ひます。茲に家庭と幼稚園との連鎖をとりたいところではないでございませうか。

# 異常兒の身體的特徵に就いて (つづき)

高師教授　醫學士　寺　澤　嚴　男

見ゆる者が少くありません。

次に身體的徵候の主なるものに就て簡単に述べる事と致します。  
(二)身長、體重。低能兒の平均身長及び平均體重は、通常兒のそれよりも小なるが常であります。無論之は多數の者の平均に就て云ふのでありますから、人々に就て見れば、例外が澤山にあります。されば此事は低能兒等を鑑定する際に實際餘り役立ちませぬ。然し兎に角平均身長及び平均體重に於て、低能兒が劣つて居るのが常である理由は、一つは低能兒は身體一般の發達力に於て、先天的に劣つて居るのが常であるにも依る事勿論であります。少きにも依るのであります。低能の女子も矢張身長は小であるのが常であります。年齢長するに従ひ多くは脂肪肥りとなり、従つて身體が不格好に

單に身長が普通の平均よりも高いとか低いとか云ふ程度のものでなく、身長の畸形とも云つてよいもの、即ち身長の過小なるもの所謂侏儒症、及び身長の過大なるもの所謂巨身症は、低能に伴ふ事が多いのであります。

(二)頭部。次には身體の各部分々々に就て考へて見ませう。先づ身體の中でも、頭部は精神の働きが宿る場所でありますから、其大きさや形ちが、其個人の精神的發達の鑑識を資ける目じるしの中の最も重要な事は申す迄もありません。頭部は更に之を顔面部と頭蓋部とに分ける事が出来ます。顔面部には其顔面筋肉の働きに依つて、時々刻々變化されつゝ其顔面表部に現されつゝある表情有るが故に、其内部の精神活動が非常に細かに鋭く示唆せられるのが常でありますから、其表情の形式や多少や銳鈍などに依つて、其人の知情意の發達

状況をよく推知する事が出来ます。されば常識的の觀察に依つて其賢愚等を突如として識別する場合には、普通の人は主として顔面の表情に頼つて居ります。然し表情は時を逐ふて千變萬化するものでありますから、判断に資すべき精確な表情の標準を規定する事が困難であります。之に反して比較的變化性の少い骨骼の大小形狀に依つて、其個人の精神の發達状態を推定するには、精神の座である脳髄を包藏せる頭蓋骨に依つて爲されなければなりません。脳髄の發育が大であれば、唯僅かに之を浸して居る少し許りの脳脊髄液と薄い三枚の脳膜とを隔てたのみで、密にこれを包んで居る頭蓋骨の發達も亦之れに伴つて大でなければなりません。即ち其内部に包まれて居る脳髄の内壓に依つて頭蓋骨の大小も或程度迄は決定されて行きます。且つ脳髄の特殊の部分の發育が大なれば、頭蓋骨のそれに相當する部分も亦大きく發達する筈であります。然し御承知の如く脳髄は極めて柔かなるものであり、之に反して頭蓋骨はたゞへ發育中でも比較的堅固なものでありますから、特に脳髄の一部分の發達が著しくても、狭い堅い箱のやうな中の事でありますから、

其部分のみの脳髄が特に突き出ると云ふやうな事はなく、其周圍の部分の脳髄にも壓していつて、餘程其高さが平均される筈であります。従つて脳髄の或部分の發達が直ちに頭蓋骨の形狀を其通りに變化せしめて行くと云ふやうな事はありませぬ。のみならず脳髄の各部分々々の機能は段々明かになつて来て居り、身體の各部分の筋肉運動或は皮膚感覺等を司る場所、視覺聽覺言語運動等を司る場所などが大分分つて來ては居りますが、骨相學者などが云ふやうに、例へば判断、想像、觀察、注意等の中樞、或は性慾、自我、愛情などゝ云ふが如き種々の中樞があるか否か、これは今日の所明かに知られて居ない許りでなく、是等の働きは脳髄の色々の部分の機能の協同作用から成り立つものであつて、決して脳髄の或る一局部の働きに依るものではないと云ふ事が確かなやうに思はれます。従つて是等細かな諸中樞の存在は否定せなければなりません。されば普通の骨相學者の云ふ所は、勿論決して當てにはならず、笑ふ可き事だとは思ひまするが、然しそれにしても大體に於て頭蓋骨が其中に包まれて居る脳髄の發達を推定せしむる一つの標識となる事は争はれませ

ぬ。猶又他面から考へて見ますと、骨組織には其組織の發達を左右する條件を、其自身の中にも持つて居ります。又外壓の爲めにも左右されます。從つて何かの事情の爲めに頭蓋骨其物の發達が阻止され或は畸形にされて、其儘固つてしまへば、逆に之が爲めに其内にあつて成長しなければならぬ脳髄の發達が障礙される事も容易に考へ得られる事であります。

されば頭蓋骨の大小形狀は、かう云ふ條件に左右されるが爲めに、母の胎内にある時の胎兒の脳髄の發育、及び出產の際に產道に於て受くる強き外壓、及び出產後嬰兒時代幼兒時代等に於ける脳髄其他諸器管の發達及び外部の機械的影響等に依つて決定されます。右の中に述べましたやうに出產の際に於ける事情も可成り重要な關係があるのであります。出產の時に難産であつて産兒が狭い產道を出る事がむづかしく、大きな頭部が其間に挟つて、可成り長い間壓しつけられて居たり、又鉗子などで頭をはさんで人工的に引き出されたりする時などには、少からぬ機械的壓迫を受けます。さうすると頭蓋骨に受けた此時の影響の幾分は長い間遺つて、其頭部

の形狀の上に色々の畸形を留める事がないとは云へませぬ。さうして此難産の際に産兒の頭部に充血した事が、後年に於ける其兒の精神障碍を可成り惹起す原因となるものであると云はれて居ります。それで小兒科の醫者殊に精神病學者などが、低能児や精神病者などを診察する時に、其出產狀況をも普通聞き糺す事になつて居ります。

さて頭部の大きさは大體の所は観たゞけでも分ります。然し其大きさとか縦と横との關係とかを稍く精密に知らうとするには巻尺を用ひ、或は頭蓋計を用ひます。

一般に頭蓋骨の大きい者は、然らざる者に比して智能の發達がよろしい。低能児等には頭の小さいものが多いた事は、今迄の多くの統計上明かになつて居ります。さればとて頭の大きさと智能の發達とは厳密に一致するものではなく、頭の餘りに小さ過ぎる者は低能又は白痴其他の精神異常者としまつて居りますが、頭の大きからざる者にも智能の大變秀れた者もあり、又頭の大きい者にも低能白痴の者があります。且つ頭の餘りに大き過ぎる者も亦矢張り大抵は低能であります。之は智能の優劣は、脳

體の大きさのみに依るのではなく、又實に其腦髓の質の良否に依ると言ふ明白な理由に基づくのであります。のみならず頭蓋骨が大變大きくとも、脳髓が大きいとは限りませぬ。何となれば頭蓋骨が大きいのは、其中に含まれて居る脳脊髓液の分量が過大なるに依る事もあり、又脳髓の實質内に大きな空洞が存して居るやうな事も稀にはあります。頭蓋内に液體が澤山たまつて居ると云ふ事は、餘り稀な例ではなく、脳水腫と云つて時折子供などに見受けます。之には色々の原因がありますが、親に徽毒があつて其遺傳徽毒に依つて、さう云ふ子供が出来る場合が最も多いであります。脳水腫の者は多少精神の發達を阻害されて低能兒等になりますが、然し中にはさうでなく、時としては脳水腫の頭を持つて居つて優れた者もないではあります。賴山陽の如きも脳水腫であつたと云はれて居ります。

次に頭蓋骨の形成の上より申しますれば、其形のいびつな者には矢張り精神異常者が多い。其形にも種々ありまして千差萬別と云つてもよろしい位であります。が塔狀頭と云つて上方へ稍々高く丁度低い喇麻塔の形に近いものもあり、尖頭と云つて頭の

中央が稍低く馬の鞍に類するものとあり、龍骨頭と云つて頭蓋骨が左右兩側から押されて頂部が船底の龍骨を見るが如くなつて居るものあります。又左右が不相稱である頭蓋も御座います。無論頭蓋骨がいびつであるから直ぐ異常兒とは考へられませぬが、かかる小供の頭を撫でた場合には、疑つて見る值打は充分に御座います。

大きな頭は大顎、小さな頭は小顎と名けて居ります。身長も常人に比すれば遙かに小さいが、身體に比して頭部殊に頭蓋部の馬鹿に大きい者は、福助などと云つて繪などにも昔からよく書かれて居り、實際にも往々見受けます。之に反して著しい小顎は割合に稀であります。然し無い事はありません。先年私は靖國神社の見世物で、著しい小顎の人間と大顎の人間と一所に出して、色々の所作を演じさせて見物人を喜ばせて居るのを見ました。其小顎は白痴に近い者でありましたが、之に反して大顎の者は流石それよりは遙に賢く、此小顎の者を馬鹿にしながら小利口さうに色々の藝事を居りましたが、矢張之も普通の人よりは大分劣つたものであります。

# 動物虐待の心理的考察

動物愛護會 廣井辰太郎

大數學者のニュートンは、「高尚有徳の人人は獨り自分が隣人を愛するを以て、最高の務となすのみならず、無告動物を愛するを以て至高の義務なりとす。」といひました。

又、フレデリック大王は、「忠實なる他動物に對して冷酷なるものは、同胞兄弟に對しても殘忍なるを常とす。」といつて居ります。

又、シェベンハウエルも亦、「他動物に對して憐憫の情あるは、その人格の高尚なるを證す故に、他動物に對して殘酷なる者は善人たる能はず。」といつて居ります。

また、フォイエルバッハは、「如何に他動物を觀察し、又それを取扱ふかを見るは、一國民の品性をはかる最も正確なる尺度なり。」と云つて居ります。

かういふ點から、他動物に對する日本人の態度を觀察いたしますると、誠に遺憾なる點があります。蓋し、日本人は生れつき殘忍性に富んでゐるといふ

のではありません。どちらかと云へば、キリスト教國の西洋人の方が如何に日本人よりも殘酷であるかといふ事は、今回の歐洲大戰を見れば、容易にわかる事であると思ひます。

私は日本人の動物虐待は多くの場合他動物と自然に對する無理解、即ち無識より起る場合が多いと信じて居ります。これ、私共同志が多年動物愛護を主張して、一つは無告動物を無役の苦痛と虐待より救ひ、又一つは動物虐待の防止によつて、人間社會の品性を定める事に微力を盡してゐる所以でござります。

然し、動物虐待を徹底的に防止するには、動物虐待の蕃行の依つて以て起る心理狀態を究めて根本的にこの問題の解決をはからなければならぬ、と思ふのでありますから、今少しく之れを心理的方面から考察しました。皆様の御参考に供したいと思ひます。

## 一、本能的虐待

自己保存のために、食物及び他の生活資料を獲得するため、又、生殖のための異性の選擇といふやう

な生物的本能より出でたるもので、之を本能的虐待と申します。或は、殺戮本能と云つてもよいのです。

例へば、殊に十歳前後の男児が、セミやトンボやイヌや子コをいぢめたり、或は殺したりするのは、この部類に属するのであります。

ところが、日本では母親が無識のために、往々、児童の殺力本能を助長せしめるやうな事があります。即ち、雀の子の翼を切つて我が子に與へたり、

セミやトンボに絲をつけて自分の子供を喜ばせたり

するといふやうなことがありますが、母親としての愛情は誠に尊いものでありますけれど、その方法をあやまつてゐることは改めねばならぬと信じます。

此處に注意すべき事は、子供は何も虐待するといふ意識を以て、昆蟲や小動物を苦しめるのではありませんから、小兒の動物虐待を矯正するといふ目的で、頭ごなしに子供を叱り飛ばすといふ事は、妥當ではありません。それで、子供の氣を轉せしめるために、何か子供の虐待の対照となる小動物に代るものを與へるといふ事は、家庭の教育に於ても、児童

教育に於ても信じるのであります。

## 二、模倣的虐待

児童が必ずしも生れつき虐待殘忍性をもつてゐない場合でも、境遇不良のために、模倣的虐待の行為を覚えて、知らず／＼、それが児童の習慣となる場合がありますから、児童教育者に、児童の環境がその天性を悪化せぬやうに充分の注意と警戒とを拂ふの必要があるのです。之れに關しては、所謂孟母三遷の物語の如きは、児童の教育者にとつて、極めて價値ある教訓及び心得があると信じます。

## 三、迷信的虐待

トカゲの尾を踏み切れば金錢を收得するとか、夜のクモは親に似て居つても殺せどか、或はアダムとエバとを誘惑して罪に導いたのは蛇であるといふ傳説にもとづき、蛇を見ればたゞき殺すといふやうな事は、この迷信的虐待に屬するものであります。

## 四、娛樂的虐待

人間は自分の快感を充たす爲に、罪もなき昆蟲又是其他の動物を苦しめる事が非常に多いのです。例へば、ハタハタ、キリギリスの後足を握りてはげしく上下に運動せしめるとか、トンボの腹部を切斷し

てそれに細い茎とか竹をさして飛ばしたり、金魚を小さいグラスに入れて楽しんだり、學校の運動會でやるドジヨーすくひとか、ブタ追ひとかいふやうな遊戯は、皆この娛樂的虐待の範疇に屬するのであります。

そのうちで最もひどいのは、南米、特にメキシコ、ペルー及びヨーロッパではスペインに行はれてゐるブル・ファイト（闘牛）であります。およそ非人道的娛樂で以て闘牛ほど残酷な、且つ悲惨なものはないのであります。が、米國人の猛烈なる反対及び攻撃に拘はらず、南米に於ては今尚ほ依然としてこの野蕃ゲームが行はれて居ります。この残酷な虐待を防ぐには、一面には道徳的及び法律的制裁に訴へるごとに、又一面に於ては娛樂即ち趣味の向上をはかつて、高尚なる趣味で野蕃的趣味を驅逐するといふほかはありませんまい。

### 五、憎惡的虐待

何といふ理屈なしに、たゞ形態や色彩又は音聲等の醜惡であるといふために、厭み嫌ふ情にからされて、徒らに無害の動物に危害を加へるといふのが、この種の虐待であります。例へば毛蟲、ヤモリ、ヘ

ビがいかにも其の容貌が氣にくはんといふので、之を殺すといふやうな事であります。

こゝに面白いお話があります。小學校に通ふ小さい子供が、毛蟲が嫌ひでいちめますので、先生がどうかしてこれを矯めようと思ひまして、或日毛蟲を顯微鏡で見せましたところ、毛蟲の色彩のうるはしさが手にとるやうに見えましたので、子供はこれら大變好きになりました。自然のなす事はみな美しいのでありますから、やたらに嫌ふことはさけなければならぬであります。

### 六、虚榮的虐待

兒童にも相當のプライド、云ひかへれば一種の虚榮心があつて、やゝともすると、自分の勇氣をば人に示さんがために、蛇の尾を握りてふり廻したり、犬を追ひまわしたりして、得意がるやうな事があります。また之を大人の場合で云ひますと、殊に婦人の場合について申せば、自分の身なりを飾るために、多くの動物を殺すといふ事があります。例へば、西洋婦人は毛皮を澤山使ひましたり、又帽子其他の裝飾のために美しい類の鳥の羽毛を要求する事が、非常に多いのであります。

勿論歐洲大戦争の事であります、歐米の婦人が婦人の虚榮心を充たすために犠牲となつた一ヶ年の小鳥の數は、二億三千萬羽に達し、そのうち五十萬羽は北米、一億二千萬羽は歐洲大陸、五千萬羽は英國、之が婦人の要求となる事になります。私が一昨年の春、ロンドンに滯在してゐる場合に、羽毛使用禁止案(Plumage Bill)といふのが、英國議會に提出せられまして、既に第二讀會を通過したといふ事をききました。かふいふ意味の虐待に關しては、歐米に於ては人道論者が上流社會に向つて痛烈なる警告を與へて居ります。

其他恐怖的虐待、復讐的虐待、病的虐待、利己的虐待等ありますが、之は題目だけを申しあげてその内容は皆様の御推測におまかせする事にいたします。

歐米の教育會では、人道的教育、即ち動物虐待に關する教訓を兒童に與へるといふ事に就いては、多大の注意を拂つて居ります。現に米國に於ては、約二十州に於ては強制的に學校で人道教育の課目を講する事が定められてある位であります。そして、是等の州の經餘では、結果が誠に良好であるといふので、他の州もぞくく之に倣ふといふ状況になつて

居ります。米國では曾て、二千人の囚人に就て試験した事があります。之は、動物虐待と犯罪との關係とを調査するための試験でありましたが、その結果によれば、或有名な獄牢の二千人の囚人中、一九九〇人迄は幼少の折に無告の動物を虐待した者である事を證明しました。嘗て有名なスコットランドの教育家が、人道主義の洗禮をうけた七十人の少年時代に於ける動物に對する態度をとり調べた處、この人道的教育をうけた中から唯一人の刑事的犯罪者を出さなかつたといふ結果を得た事があります。

かういふ點から考へて、日本の兒童教科書にも、今少し動物愛護に關する話を入れて貰ひたいと思ひます。

世間では動物を愛護せよ、殺生するなどいふやうなことをやかましく云へば、兒童は薄志弱行に流れると考へる人がある、私はもつとも優い心情の持主はもつとも大なる勇氣の持主であり、眞に社會のために奉仕し、國家のために生命をさゝげるといふやうな人物は、同情の精神に富んだ人であるといふ事を堅く信じ、又之を證明する事實が無數の歴史上の實例を持つて居ります。(文責在記者)

# 童謡二つ

茂木由子

○みんなこい

ひよこが びよ／＼

猫がにやん／＼

犬はわん／＼

啼いて來た。

わたしのまわりに皆こい

皆で仲よく遊びませう

わたしのまわりに皆こい。

○大きなお日様

大きなお日様 真赤いな

からすが お山の上で 真赤いな

誰だか遠くで唱つてゐる

あしたは天氣にな、

あ、

れ。

## デフテリヤのお話

醫學士 宇都野 研

デフテリヤといふ病氣は、急性の傳染病で、特に小兒を多く侵す病氣であります。稀には大人もかかる事があります。

デフテリヤの病原はレフレルといふ人の發見した細長い細菌であります。其が好んで人間の咽頭、喉頭、鼻腔等に巣をつくります。この他に、眼瞼、脣にも、他の粘膜にも、また耳の外聴道にも、氣管枝にも時としては宿ることもありますが、其は極めて稀なのであります。

それでデフテリヤ菌といふものは、附著した所に白い幕の様なものをつくつて、其處へ住んでゐるのあります。そして血行中には這入つて行かぬのであります。巢をつくつたところで毒をこしらへ、それを血液の中に送ります。さうしてこのデフテリア菌の毒素によりて、中毒を起すのであります。

デフテリヤに罹る子供の年齢はどうであるかと云ひますと、年齢の少い程かかり易く、生後満一歳以

後から幼稚園児童にかけて大層多いのであります。別に男女に依つて罹る程度に差はありませんけれど、一度デフテリヤにかゝればほんの三週間位の免疫を得るだけで、また繰返し病氣にかかるのであります。百日咳やはしかのやうに一度かゝれば罹らないといふ事がないのであります。

デフテリヤが最も多くつく場所は今述べました三つの場所のうち、咽頭の奥に見えるのとだけの兩脇にある扁桃腺のところであります。白い疑膜をつくりますから、デフテリヤではないかしらと思ひましたら、咽頭を見るのが一番よろしくございます。デフテリヤの初めの容體は風邪をひいたのと餘り變りなく、割合に高くなり熱が（三十八度前後）あり、頭痛もし、時としては咽喉の痛みを訴へることもあります。時としては熱のない事もあります。その折には感冒とあやまられる事が屢々あります。顎下腺をおしてみると、多少はれてゐて、痛みを覺えま

す。これは大事な容體の一つであります。西洋のお母さんはよくすることがあります、手の指を綺麗に洗つて、或はお匙で、子供の咽喉を押しかけて見ますと、扁桃に白いものがついてゐます。この時はデフテリアの確かな證據であります。日本の家庭でも母親たちはのどをあけて見た方が結構です。

こゝに注意すべきは、ロホー性扁桃腺とデフテリアが非常によく似てゐることであります。それ故に、性扁桃腺は却て熱が高いことがあります。それ故に、

熱が少いからとて軽い病氣と云つてはならぬのであります。

デフテリアになりますと、喉頭即ち聲帶のあるところから、犬の吠えるやうな聲が響き出て、又、咳も出て來ます。しかし、咳の出ることは、デフテリ一性のものでなくとも、假性クループといふのにも、同じ徵候があらはれてまゐります。假性クループは、夜中に急に變な咳が出て驚いてゐると、次の日にはすぐ癒つてしまひます。こんな癖のある子供が澤山あつて母親がすいぶん心配させられます。ほんとのクループですと、咳がやまないばかりか、吸氣困難を來いたします。

生れて間もない赤んぼにはデフテリアが鼻腔につくことがありまして、風邪のやうに、水鼻が出て、うすい血液の色を帶びた鼻汁が流れます。その鼻汁には毒が混じてありますから、脣などに腫物が出来ます。これは比較的熱がないので、閑却されてゐます處。却て豫後がはかゞしくまゐりません。少し年をとつた子供ですと、赤んぼ程に鼻汁が出ませんし、他に變化のない爲に氣づかないで居りますと、鼻の中に白い膜が出來て居ります。

毒素はデフテリアがつくつて血行の中に送りこみますと、人間の血液のは一種の抗毒素が出来るものでありますから、かまはすに置きましても治ることは治るのですが、然しながら人工的にデフテリアの毒素と中和するものを注射することにしてあります。これはデフテリアの血清を馬に注射して、始めは量を少くして順々に量を多くして之に馴らして、馬の體内に出來た抗毒素を馬の血清を注射して人間の體の中に入れるのであります。血清注射は早ければ早い程よいのであります、デフテリアを發見した第一日目に注射すれば死亡率は三%、四日目位では九%，一週間立てば四〇%にものぼりますから、

注射は早ければ早い方がよろしいのであります。

こゝに一寸申し上げて置きたいのは、二度目に注射をします時に、極めて稀な例ではあります、人間が死ぬことがあるのであります。動物では注射で死ぬことはよくありますが、人間もまれにはそうした事が起るのであります。一回目の注射したなど、十日以上半年以内にもう一度デフテリアにかかりますと、注射をしなければならぬ時でも、よく注意してすれば、決して死するやうな事もありません。注射すれば大抵十時間も立てば熱が下り、十四時間も立てば無熱になります。

然しながら、二三週間立つて、目が見えなくなり、聲が鼻聲になつたり、食べたものが鼻から出たりします。それはデフテリアの毒のため、眼の筋肉が麻痹して、目の位置が變になり、遠近が見えなくなるのであります。又食べものを鼻から出すのは、胃のみこむ力がなくなるから、管をさして食べ物を胃に送つたりします。もつとひどいのになると、足もたてなくなるといふのもあります。

何故に抗毒素なる血清注射を行ふてもこんな状態が起るかといふと、勿論注射した方がしない時より

は幾分かよろしいのであります。が、デフテリア菌も皆同一のものでなくて、血清によつては中和されないのがあるからであります。それでも、注射は大變きゝめがあるものでありますから、施した方がよろしくあります。

デフテリアが治りかけて一ヶ月以後になつて、元氣がよくなりかけてから、突然に心臓麻痺になつて死ぬ人があります。便所へ行つていきむとか、かけっこすると、繩飛びをしたりして、急に起ることがありますから、デフテリアの後は極めて安静にすることが必要であります。

デフテリア菌は百日咳等と違ひまして人體の外に出ましてもいつまでも長く生きてゐますのであります。デフテリーの子供から出た痰や唾液を著物につけたまゝ外出して家に歸つて來ても、未だ生きてゐて傳染します。それ故、ハンケチ、痰壺、などは三十倍のリゾール又は石炭酸で一日つけて置いてから洗濯します。著物等もさうして消毒します。もしデフテリアの子供を見舞にでもゆく時は、著物の上に上覆をかけてゆくやうにします。（文責在記者）

# 過去十箇年

奈良女高師保母 會澤タガエ

(此の一篇は、奈良女高師の「家事研究」の家庭教育號に掲載されたものです。幼稚園直接のこととして最も興味深く思ひますから轉載しました。 記者)

私がこの奈良女子高等師範學校附屬幼稚園の保母を拜命したのはつい昨日の様に思ふが早十ヶ年にもならふとしてゐる。十ヶ年かなりに長い年月ではあるが、しかし自分は決して長い感じはしない。中學校や女學校に通學の生徒方に禮をされば、其の人の幼少時を思ひ出して初めて長く此處に止まつて居る事を自覺するのである。さて其の長い年月の間何をして居つたか、ぼろ／＼懺悔を試みよう。

幼稚園保母を希望した理由及保母を拜命した其の當初

自分は幼小の頃から子供が好きであつた、またオタバコボン時代から一二歳の子供の泣くのを慰めた、子供はちきに泣き止んだことを記憶して居る、小學校に入學し三四年頃から高等にかけて外遊時には、常にお人形事をして少しも倦まなかつた。

女學校に入學してからは日曜と云ふ日曜は、先生方の坊ちゃん娘ちゃんを集めて自分は小さい先生と云ふ名のもとに、鬼事をしたり隠れん坊をしたり其の他いろいろの遊戯をした、自分も喜び、子供達も日曜の來るのを樂しんだ、かく子供達と遊び戯れて居る間に明治三十三年となつて上京する事になつた。上京後三ヶ年間は子供に接する機會が少なかつた、たゞ四年の教生の方より其の方々の受持の子供の話を聞き、時には自分が子供となつて談話を聞いたり、お唱歌を歌つたりする位のものであつた。愈自分が教生になつて附屬に出る事になつた、女學校、小學校、幼稚園、何れから出るのであるかと心配して居つたが、自分は幼稚園から出る事になりしかも分園と云つた其の頃は、中以下の商人や労働者の子女が来て居るので雨の降る日等は、車で登園するが、

其の車夫は父であつたり又兄であつたりと云ふ風であつた。しかし自分はこゝに配當せられた事を此上もなく喜んだ、朝は早くから出て行く午後も時間の許す限りはこゝにゐて先生から色々の教へを受けた、日に／＼子供はなついてくれる、よく遊びが出来る様になる、興味はわいて来る、如何に寒い日でも戸外に出て遊ぶ、其の土産は耳殻邊に凍傷のあととなつて今尚残つて居る。外遊に於ける子供と自分の接觸はかく密接になつたのであるが元來氣弱な自分は腕白な男女兒を一まとめにして保有する事は出来なかつた、今から考へても恥かしい。時の定めにしたがつて次には小學校に移つたが割合に高年級高等科の一二年を男女合併で受持つたので幼兒に接する其れとは幾分様子が異つた、しかし同一校内であるので小學校通ひの往復に幼兒と逢ふことを一の喜びにした。女學校の教生も終りこゝに明治三十七年三月を迎へ四月にはお江戸の花を見ないで東都を去つた。さて奉職したのは海にも近く山にも近い勝地に建てられて師範であつた。幸此處には附屬幼稚園があつた、幼兒は僅か五十名計りであつたが自分にどうつては此の上もない幸であつた、暇さへあれば出か

けていつて子供と遊んだ。時には談話もしてやつた、歌も共に歌つた、子供との接觸を可成多くして子供の上にいろいろの研究をし様とした。しかし本職は保姆でないのであるから時間も少なく又幼兒との接觸も思ふ様には行かない。且いろ／＼疑問が出たのでは在職中夏休みを利用しては、各地に旅行して幼稚園を參觀し廻つた。勿論休み中であるので思ふ様には行かないが其までも東北地方信越地方等は七月末九月初め授業があつたので便利であつた。子供の上に何か見出したいと餘暇をもつてはこんな事もして見たが、元來空虚の様な頭の持主である自分は心のみあせつて眞に何物も見出す事が出来なかつた。

大正二年七月病氣の爲歸省し静養して居つた、丁度其の八月の事であつた、奈良女高師附屬幼稚園に保母一名缺員であると云ふので前主事雀部先生が一日私を訪ねてくれられた、そして色々幼稚園のお話を聽ねてくれた、そして希望ならば採用してもよいと迄云つて下さつた、其時は自分の病氣も全快に近づいて居たしかねて研究したいと思つて居る幼稚教育の任に當る事でもあるし實にうれしく思つた「お差支なくば御使ひ下さい」と咽元迄は出たのであるが保母となるに

必要な條件を考へた時、どうしても口には出せなかつた。先生とお別れしてから色々に考へた、保母となるに必要條件はいくらもあるが先づ簡単に考へたゞけでも以下の六條件位は具備して居らなければならん。第一に健康體でなければならん、第二に感情圓滿であつて智德兼備の者でなければならん。第三に特に兒童心理、生理衛生に通じて居らなければならぬ。第四に美貌の持主でなければならぬ。

第五に幼兒に對する多くの經驗と理解とを持って居らなければならぬ。第六に眞に子供好きでなければならぬ。先づかきつけた六件の中第六項位が僅に自信あるのである、しかし實際幼兒に接し、幼兒教育について研究して見たいとは、かねてからの希望であるのでこの機を逸しては又とかゝる好機會は得られないと思つて實に貧弱な身をもつて先づ第六項をたよりに最善を盡す考で採用して頂く事となつた。大正二年九月よりいよいよ保母となつて小さい子供を相手にする事となつた。何分にも十年來も幼兒のみを相手にして居られた經驗たっぷりの先生のあとであつたので其の困難は一通りでなかつた、自分の扱方の悪いのと手順れた先生に別れ新らしい者が來

たと云ふので子供は内と云はず外と云はず日々あれ廻つた、男兒等は大喧嘩をした。「この喧嘩に付きて自分の常に考へて居る事は一般には云はれないが喧嘩も子供の喧嘩ならば時としては餘り干渉せずには子供仲間の解決に任せて置かねばならん」と云ふ事である、なぜなれば子供の時に互に人に勝たう權力を人の上に及ぼさうとする心が喧嘩になるのであるから喧嘩をする位の者でなければ成長の後も優勝の人正義を守る人となる事出來ぬ」以上の様な考へから喧嘩は餘り氣にもならなかつたが、しかし其の頃の子供の喧嘩は餘り樂觀も出來ない様な時もあつたので、そんな時にはかなり氣をもんだ、しかし氣のもみ甲斐のない時が度々であつた、又子供は快活で無邪氣で、すなほであると思つて居つたが意地悪や、はにかみ性や、ひがみ性、いじけ性等をばつぐんに見出した、親切、きれいすき等のよい點も見出した。自分はいつも子供に對してよい感情計りを持ちたが、教生時代にはかなり亂暴剛情不柔順、殘忍性を帶びた様な者もあつたが後はすつかり其の様な事を子供から除いてよい事計りが自分の心に深くきざまれて居つたので尙々強く感じたのである、自分は女

學校時代から小公子が大好きで度々反復した結果もあるのであらう。兎に角幼兒の性情を極狭く、縮めて考へて居つたのである。しかし自分の受持である子供に餘り面白くない性情を見出したとすれば其のまゝに置くわけにも行かぬ、如何にして其の性を矯正し様かと隨分苦心したが經驗の無い自分が幼兒の個性を充分に觀察もしないで手をつける事を恐れた、で自分は幼兒に接する態度、心的狀態、言語等に就て深く考へた。幼兒に接するの態度は極力幼兒等を愛し常に愛の過ぎざる様に注意した、心的狀態は燥いた涸れた、かさくした心持をこりさつて常にうはほひあり且熱あり感情圓滿常に小犬が跳り小鳥が歌ふ様な心地になつて幼兒に接した。言語は「いけない」と云ふ様な否定的の言葉は決して使用しなかつた。こんなにして自分は朝は可成早く登園し幼兒を迎へ出來得る限り幼兒と共に遊んだ。同じ事を繰返すことこゝに六ヶ月續いた。時は大正三年二月となつた。自分は餘程子供になれて來た、さきに慈愛深い先生に別れた寂しさは幼兒の上に餘り見られなくなつたと同時に幼兒の心情も餘程和らいで來た。わけも餘程わかる様になつて來た。今迄「如何

し様かこの子供を」とねてもさめても心にかゝつて居た子供も善惡を辨別して同じ戯も大した悪戯ではなくつて來た。「ひねくれた」子供も其の心情はどうへやら失せ去つて卒直な愛らしい子供となつて來た。自分の喜びは何にたゞへんものもない位であつた、でも決して安心は出来ない益々腕によりをかけた。大正三年三月末日幼兒達は立派な保育證書を頂き且日頃造つた手技を貼りつけた手技帖、書き方帖等をもらつて、にこゝして保護者と共に園門を出でいつた、自分は幼兒等の前途に幸多かれと祈りつつ見送つた。

#### 特別惡戯兒の矯正について

大正三年四月自分は年長と云ふ處から一番下の組満四歳から入園の組の受持を命ぜられた。此度は子供に少し経験も出來たので「此度こそは」と大希望を持て幼兒等を迎へた、幼兒は二十五名、皆乳の香のぬけない者計りであつた。或人は「子供は注意して放任して育てるに限る」たしかルーソーもそんなことを云つたと記憶してゐる、で家庭と幼稚園、幼兒にこつては大變化であるかもしけぬ、たしかに大變化であるから本學年度は以上の如き言葉に従つて取

扱つて行かうと思つたのである。そうして自分はどんな苦しい事、かなしい事、腹立たしい事があつても幼兒に接する時は心閑静に、快活な態度で接してやらう（横路にはいるが世の中の母親の子供に接して居る状態を見るに、かなり物のわかつた人でも自分の感情によつて子供を左右して居る、自分が腹立たしい事があれば些少たる事にも子供をしかり飛ばす、苦しみ悲しみあれば幼兒が樂しくうれしく話しても少しも相手になつてやらない、「ヤカマシイ」とか「ウルサイ」とか云つて少しも意にしない、そうかと云つて自分の氣分のよい時は子供が進まなくとも無理にもひきよせて子供にとりては面白くもない事を話してみたり又はしてみたり等する實に幼兒にとりては迷惑千萬な事であつてこんな心掛けでは、とても完全な家庭教育を施して行く事は出來ない）又母の代りと云ふ事を念頭から放さない様にし様、そして昨年來考へた心情等は決して忘れない様にと、こんな事を思つて幼兒に接した。幼兒の登園前から出勤して玄關前に幼兒を迎へた、二三日は其れぐらにばつ／＼附添を離さうとした。すなほに附添をは

なれる者もあるが、又なか／＼離れない者もある。肩にも両手にも、兩袖にも子供がついて居るが中にはどうしても祖母の側をはなれぬもの、女中を離さない者が二三名はあつた、いろ／＼骨を折つた結果一二ヶ月の後には附添がそばに足らなくとも泣かない迄になつた。他の元氣な幼兒の状態はと云ふに幼稚園にはなれて來たが、實に亂暴で手のつけられないのがあつた、この幼兒は祖父母の溺愛を受けて成長し、實に我と云ふ事より考へた事が無い、とても共同生活なんか出來さうにもなかつた、園内の玩具は何れも自分の持物にしたい、自分の云ひ出した事は是が非でも通したい、腹の立つた時は、行きあたりばつたり附近の幼兒の頭をなぐる、泣かす、机の上を歩る、机や椅子を倒す、石を投げる、こんな事で他の幼兒の迷惑は一通りでない。自分は静かに考へた、又よく觀察した、して先づ試みた、他の子供は暫く助手の方に預ける事とした、自分はこの幼兒の登園するや直ちに手をとつて友達一人を連れ花壇に遊び蛤蠅を探り蝶を追つた、又時には裏の小池に小舟を浮べ筐舟をつくり小魚を抄つた、又時には木蔭に連れて行きて談話會を開き鬼事を遊び、木登を

させたり等した。事情の許す限りは公園にも連れて  
いつた、あの廣々した綠したる樹蔭にて自由に活  
動せしめた、初めの程は友人も一人であつたが時々  
は二人三人又五人計りにも増加した、しかし五人七  
人と友人を増加する事が出来る様になつた頃は餘程  
共同生活に馴れて來た時であつた、かくて一學期を  
打過した。第二學期から本幼兒は見違ふ計りに元氣  
なよい子になつた、自分の喜びは何にたゞへんもの  
もなかつた、自分は益々幼兒の個性を尊重し

明治天皇の御製（子）思ふ事つくらふ事もまだ知  
らぬ幼な心の美しきかな。こんな有難い御製を思ひ  
うかべ無邪氣で、のび／＼して、元氣で、快活な、  
子供らしい子供に仕立てゝ行かうと腐心した。

#### 盜癖兒を矯正した事

大正七年四月又新らしく二十五名の幼兒を迎へ  
た。或雑誌で以下の様な事を讀んだ大變自分の氣に入つて自分も常にかく考へて居るので一寸記して見  
よう（幼稚園の參觀に罷出で候、父兄や母姊や、視學  
や、校長に成績品として御目にかかる一番適當なる  
ものは「御出で下さつたら皆さんはこの可愛い  
子供達といつも一緒にこんなに面白く遊び廻つて居

ります」と敢て鼓言し得る事にて候、諸君の態度にして斯くあらば子供は常に太陽に照つて居るが如く又花の愛らしく笑つて居るが如く愉快に、陽氣に樂しむ可く候、遊戯をして樂しきものたらしむると同時に有益なるものたらしむるを得るも得ざるも先づ以て諸君の元氣の有無と陽氣なる態度を維持するを否とによつて直ちに判明致候、幼稚園に於て不景氣なる態度を現はすは絶對禁物に御座候）以上の様な心持は幼兒を取扱ふ者には必要缺くべからざる處である。

大正七年入園した子供の中今迄經驗した事のない盜癖兒を見出したのである。立派な家庭の娘子、一日も早くこの癖を矯正しなければならん、子供に傷けない様、他の子供から目星を付けられない様、子供自身にもいやな思をさせない様、父母にも知らせない様にして矯正にとりかゝらうとした、先づ自分は目に立たぬ様に其の子供の登園するや退園する迄少しも目をはなさないで行動に注意した。時には多くの摺み紙を懷中に見た、又排べ方用具を「ボケット」に入れ又袂のふくらんだ時もあつた。こんな時にはいつも友人無き時を見計らつて本幼兒の手をとり花

壇又は芝生に連れ行き、静かに、懐の摺み紙を先生に下さり、又ポケットの板や鏡を先生に出して下さい、こんな事を五六回も續けた。同じ方法では幼児もいやに思ふと考へ幾分の變化は與へたが、しかし本幼児の持物も出せた事は同一であつた。かくしてゐる中に色々無邪氣な話をしてやつた、元氣な話しもした、又自分の持物で無い物を人知れず自分の物にするの不可なるを話し等した。初めの中は少しはにかむ點等ないでもなかつたがよい家庭のお子さんだけに、餘りの隠しだてをしたり、こちらから云ひ出したものを出さなかつたりと云ふ様な事はなかつた。かく度重ねるにつれ幼児ながらも人知れず隠すものゝやはり人は知つて居ると思つたのか、子供ながら其の否を悟つたのか、ぼつ／＼其の度を減じ約三ヶ月の後は全く其の跡をたつた。此の間自分は、こわい顔をした事もない、叱つた事もない常よりも注意して出来得る限りやさしく接した、以後よく注意して居つたが其の後は決してかゝる事はなかつた自分は本幼児のこの癖を根治した事を衷心うれしくも思ひ又感謝もした。今までこの幼児は何となく、いだけた、はき／＼せぬ子供であつたが、この性の根治

してからは快活なさつぱりしたよい子供となつた。

### 虚弱兒を健康兒に

大正九年四月又々新らしい幼児二十五名を迎へた、本年から養生科が出来たので其の生徒二名と共に幼児に接する事となつた。本年度入園の幼児は一見身體の痩せた弱さうな幼児が多かつたので一層幼児の身體的方面に對して注意を拂つた。大自然との接觸は益々其の度を多くした。初めの程は幼稚園裏手の公園に引率するにもなか／＼に困難であつた。幼稚園に入園の出来る年齢の幼児が三町計りの道も歩けぬ云ふ様な事は大人からはとても考へられぬかもしけぬ、まして幼稚園に入園の出来得るものがある……

しかし實際は南園堂(約三町)行きにも附添の肩を要した。オンブ／＼が口癖の様であつた。かくて約一ヶ月の後は附添の肩を要せず約五町計りなる師範學校前位迄は歩ける様になつた。一日一同を引率して物産陳列場前に猿の子、鶴の子を觀察に出かけた、行きは先づ無事であつたが俄に「先生鶴の脊中に乘りたい、鹿の脊中に乗りたい」等云ひ出して動かす、色々すかしてもなだめても動かずキャラメル三四

個を與へ附添の來るのを待ち其の肩によつて漸く歸園した。この幼兒は生來薄弱な質で家庭でも保護に保護を加へ幼稚園に入園する迄は全く真綿の中に包まれて居つた。身體的方面に於ける積極的取扱等はてんで受けて居らなんだ。在園二ヶ年間常に家庭と連絡をとり本幼兒の健康の増進に全力を注いだ。こんなにして注意した結果入園第二年目には他の幼兒に餘り劣る處なく若草山にもどん／＼登つた、田園にもすん／＼出掛けた、春日山附近にも自由に遊び、僅かの時間で春日神社にも詣で少しも疲勞せず、郊外に出る事を此上もなく樂しむ様になつた。少し程度は違ふが他にも二三同様の幼兒にもあつたが皆健康體となつて大正十一年三月に一同目出度小學校に入學した。考へるに子供の育て方は勿論消極的ではいけない、現今は尙更自ら働き得る人間としなければならんのであるから常に積極的方面を考へて行かなければならぬ、しかし其の幼兒々々に適當なる方法を使用して生れつき弱い者は普通健康児とは衣食住其の他すべて幼兒の取扱上手ごゝろを變へて行かねばならぬ。

### 幼兒の躊躇方に付て

とやかくして居る中に十ヶ年は夢の間に打過ざてしまつた。其の間かなり澤山の子供に接した。一番強く感じた事は、善良なる習慣の養生は母の胎内にある中から初めなければならない事だとと思つた。少なくとも生後直ちに初めなければならない。赤ん坊だからよい、小さいからよい、と云つて居る中に手のつけ様も無い迄になつてしまふのである。家庭教育の最も進んで居る英國等では、母親は紳士淑女と云ふ事に重きに置き正直でなければならぬとか、弱い者を扶けなければならぬとか、親切でなければならぬとか、陰日向があつては不可ないと云ふ事を策度我國に於ける古武士の様に形の上にも、精神の上にもちやんと堅く守つてゐる。そして子供を教育して行く。我國の母親達は育児に對する眞の考はまだまだ幼稚である。幼兒四歳五歳にもなり亂暴、剛情、不柔順、意地悪、殘忍性、反抗性、いじけ性、はにかみ性、ひがみ性等を現はして來た時に初めて如何し様か、何とかねせばならぬ、これでは困ると大騒ぎをする。しかし其頃に驚くのはもう遅い、そして四五歳にもなればこれを矯正するのに餘程の骨折である、親も苦しい、子供も苦しい、そして割合に效果

はうすい、生後よく注意して不知不識の間にこれ等の惡癖を矯正して行かなければならん、これをするに最も必要な事は、自分の子供をよく知る云ふ事である、自分の子供をよく知らないでは眞の教育は出来ない、世の母親たる者は充分に智徳を磨きわが子に對して溺愛する事なく、よく子供を理解して大人の標準を以てせず、子供の各年齢に應じ、時代に從つて最も子供らしく、子供として必要なる心身の活動を圓滿ならしめ、之に依つて自然の發育を完うせしむるのである。

### 子供ご小遣ひ

「これも常に母親から困る一つとして聞く處である「子供が小遣をつかつて困る」と（或人の意見による）餘りに他の子供と異なる如く嚴禁すれば却て悪しき感情卑し心情を起すに至る事がある、其で時々は與へ駄菓子等を買はしむるもよい、されど決して立食させてはいけない、買へば必ず家に持ち裝つて食べさせる様にする、而して小遣帳をつくり出納簿にして置く。斯くして成長するに従ひ金錢出納簿に益々明細に學校用品其の他の服裝を始め日用品萬般悉く記入せしめ子供にあり勝ちな物欲しさの卑劣な

心を起さしめず一方には濫費濫用を戒しめつゝ偏せず曲らず窮せず怠らせずする内に自然と經濟的的思想を養ふ様に始めたいものである）。自分も小學校の上級にでもなればこの説には賛成しないでもないが、幼稚園時代や其れ以前には子供に小遣を與ふと云ふ事は絶対に反対したいのである、これも癖の者で幼少より金錢を與ふる事を教へず、又買食等の癖をつけなかつたら決して子供がそう錢ほし、錢ほしと云ふものでないと云ふ事を經驗によつて自分は斷言するのである。未だ何もわからぬ子供に金錢を與へても徒に亂費の方法を教へる様なもので決してよい結果は來さないのである「友達が、近所の子供が買食をするので」と云ふ事はよく聞く處であるが大人が確固たる意見を持ち、最初の第一歩に於て注意したならば決して錢遣ひの習慣等はつくものでない。

以上わが過去十ヶ年の懺悔である。

# 消化不良症に對する家庭に於ける手當

依　田　春　子

秋は種々の果實や茸類の多く出る時であります、從つて病原菌の發生が速かで御座います。故に、児は殊更病氣に罹り易い時で御座います。消化不良、腸胃カタル等につきて御家庭に於て醫師をお迎えになる迄の手當法に就いて申し上げ度いと存じます。

先づ其の主なる原因として、児童に於きましては過度の不消化性食餌の攝取、食物が體内には入りましてから化學的變化、分解、自家中毒（毒性產物の吸收）、殊に營養物の發酵（乳酸、醋酸、牛酪酸）の作用は、本症に最大の起因をなし、殊に腺病性の児は本病の素因に富んで居ります。

幼児に於きましては、不良及び未熟の果物等の攝取、暴飲暴食、腹部の寒冷、及び蛔蟲（寄生蟲）の發生に起因いたします。

秋は食物の腐敗し易き時、殊に牛乳は最も注意を要します。

症候といたしましては、顔面蒼白となり、食慾に乏しく、嘔吐を來します、此の嘔吐は、食後十五分乃至三十分にして、胃中の食物は半ば變化せず、半ば粗大にして凝固し、酸臭或は腐敗臭を帶びたる、

消化困難性の、嘔吐を來します。腹部は腸瓦斯の集積によりて多少膨隆し、疝痛所謂「シヤク」の如き痛を訴え、放屁多く、而も消化困難症の排便があります、時としては又壓迫様の痛みを覺え、往々蠕動行進をみとめ、糞便は多量に排泄いたします。

胃性消化不良とは、胃を多くおかされた場合を申まして、下痢數は比較的少なく、二十四時間中多くも五回を越えません、そして粘液或は白片を混じます、嘔吐は數多く、胃部に鈍痛を覺え又胃痙攣を起すことがあります。

腸性消化不良とは、腸を多くおかされた場合を申しまして、下痢の數は多く、嘔吐は稀で、時としては、全くない時もあります、下腹部に疝痛を訴えまして、下痢は二十四時間中に、十五回乃至二十回位

ありまして、初め酸臭又いアンモニアの如き悪い臭氣を持つ水様便を洩します。疝痛發作に悩む時は、腹部を堅くして、苦悶状態になります。

此の胃性消化不良も、腸性消化不良も共に、進みますと、食思は全くなくなりまして、口内に悪臭を生じたり、舌苔(舌に白い苔の様なものを生じます)の生ずることがあり、不機嫌にして、氣力衰へ、嘔吐、頭痛、發熱、腹部の疝痛、又極く軽く一寸腹部に觸れた丈けでも痛みを訴えます。又急劇に高熱を發して、手足は冷え、高熱の爲にウツゴトを發し、下痢の數多ければ、時としては虚脱に陥ります。

手當法をいたしましては、この症狀に、少しでも氣付きましたらまづ第一に時を移さず。

ヒマシ油を與えます、この時間の遲速は、本症に於て、豫後に多大の關係がありまして、時としては到底見込みのない重症者に在つても、此のヒマシ油を、早く與へた爲に、危い生命を取り止めた實驗は澤山に御座いますと伺ひます。

分量は年齢によりて多少異りますが、五歳より十歳までの子供は、八瓦乃至十五瓦を與えます、此のヒマシ油は、油狀をなして非常に飲み難いもので御

座いますが、成る可く飲み易い様に工夫して、この大切なお藥を、動かさなければなりません、此の用法は、種々御座いますが、オブラートを浸しまして藥を少々入れ、小さな玉となして幾度にも與えます之を手早くいたしませんと、流れ出る恐が御座います、熟練を要します。それよりか、藥の中に、單舍利別を藥の量の、三分の一位混じてよく振盪して與えます。之は簡単でもあり且つ割合に飲み易くなります、又出來得れば、グリスリン灌腸をいたします分量は二十瓦乃至二十五瓦位に、等分の水を加え、静かに之を行ひます。

食物は特に注意して嚴重に制限いたさねばなりません。重湯、葛湯の薄きものを體温の温かさにして淡い味を付けて與えます。口渴を訴えます場合は、番茶或はリモナーデを與えます、嚴禁すべきは、牛乳と玉子、濃厚のスープ等で御座います。

熱に對する處置をいたしましては、額に、冰嚢を當てます、熱の低い時は濡らした手拭でも間に合ひます、部屋の溫度は、寒くない様に心懸け、冬季でも六十度以下に下らぬ様に注意いたしまして、直接臥牀に風の當らぬやうに致します。

四肢の冷えたる時は、湯婆を入れて温めます。此の時は直接に當てゝ、火傷を起さない様にしなければなりません、脈搏の多い時は心臓部に冰嚢を當てます。次には嘔吐につき申上ます。食物の爲に、急性中毒を起した場合の嘔吐は、自然的の療法ですから、胃の内容物は皆出してしまつた方がよろしい此の性質の嘔吐は、温湯や番茶を多量に飲ませますと、胃洗滌の代用となります。嘔吐の數が多い時は、疲労の爲に衰弱を來して苦しみます。嘔吐を止めます手當としては胃部に冰嚢を當て、又冰片を少量與えます、そして絶対に安静を保たしめる様に注意しなければなりません。そして心氣を一轉させる事も大切でございます。嘔吐をいたします時は、頭を横に向けて頭をさゝえ、静かに背部を擦り、幾分なりとも其の苦痛を輕減する事に努めます。頭を上に向けて置きますと吐物が氣道に入りまして苦む恐れがあります。嘔吐後は清水で含嗽を致します。

下痢は其の數が度重なりますと、疲労衰弱いたしますから、成るべく安静にして排便の仕末をいたします（差込便器の使用を必要と思ひます。）又温き臥牀に寝かせて四肢の冷えぬやうに注意し殊に腹部は

温湿布を當てます。下痢の爲疲労衰弱して脳貧血を起した場合は、頭を稍低くして、赤酒（薬用赤酒又は葡萄酒）等の興奮剤を與えます。意識を失ひたる場合は顔面胸部に霧を吹きかけ四肢を毛布などにて摩擦し、刺戟を與えます。斯る場合は、意識が恢復してから、興奮剤を與えます。吐物及び排便是、醫師の來診あるまで其儘にして置きます、又病氣の傳播せぬ爲蠅の止らぬ様注意致します。それから今一つ御注意申上げ度いことは滋養を取る目的で、幼児にお刺身、牛乳、玉子等を食べさせる方を多く見受けますが、之は健康兒は兎も角も胃腸の働きの衰えて居る恢復期等に於ては、體内に這入つてから、腐敗し易く反て體に害を及ぼします。

スープは鰹節スープ、野菜スープが最よく淡白に味を附けます。油の浮いた鳥肉スープはいけません。恢復期の主食は、澱粉質を主とし重湯、おまじり、お粥の順に進ませ、副食は、自身の魚肉を最上とします。之を煮又よく中迄蒸し追々消化力が増すに従ひ、焼いた物を與えます。野菜は馬鈴薯、波蘿草の類から與えます何れも裏濾しにした方が軽く、消化し易くて安心で御座います。

# 女兒下著兼用のスウェーラーの編み方

中島しげ子

## ○先づ編物について

現代の婦人は少しでも自分の爲の時間＝家事に囚はれぬ時間＝といふものを見出して勉強し度いと切望し且又其必要を十二分に認めるのでございます、子女を教育する母として其用意をするのは勿論の事でございますが先づ其前に唯一個の人間となる資格を求める必要がございます。過去の日本の婦人の様に唯簡単な家事をおさめ、夫の隸屬物として、悠長に終日生花や點茶に時を過しておさまつては居られません。過渡期にある現代の人間は總べての方面に苦しまなくてはなりません。

皆様母上様方はやがて來るべきよりよき新時代の創造者となるべき幼子を完全に育てられる最も大なる使命を負ふて居られるのでございます。私共は今最も自重しなくてはならぬ時代におかれていますが、一步でも進む爲には學ぶべき時を求めなくてはなり

ません、それには先づ生活を簡易になす事が第一でございます。生活の要素である處の衣食住を最も簡易に然し最も有意義にしなくてはなりません。下らぬ技工を用ふる事を何よりもさけなくてはなりません。同時に簡易々々の一天張で美と云ふ事を打てるといふ事は我々の生命を打こはすといふ事になります。

先づ衣服ことに一番御手もとこをる御子様方の御召し物について申上ます。御子様方の御召し物としては第一自宅で自由に洗濯の出来るもので體の發達をたすけるものでなくしてはなりません。又子供らしい愛らしさをそへるものでなくしてはならぬのも一條件でございます。各方面から見て經濟的のものとしては冬の物には毛絲の加工品を自宅で御造り遊ばす事が先づ第一と存じます。之は親しい御客様の折等は隨分御話し乍ら出來ます。唯編棒と毛絲さへあれば出来るのでございますから御裁縫の様にへら板や

針箱を出して大きさを致す必要なく出来ると言ふ便利がございます。次に御承知の通り毛糸は（ことにミチル、毛糸は）美くしく、最も軽く、保温力が多く水分をはちき、洗濯が自由で御子様方の御召物として理想的と存じます。

### ○下著兼帶のスウェーダー

三歳二六歳位 用絲 ミチル、シエットラン

ドフロス……三捲

編棒 竹製玉付二本針七號三本

編物は大抵手のなれる爲に後身頃から始めます。

先づ一番に七十三だけ目を造ります。次に表編許り一時位なさいます。つまり出来た處は表と裏と一段おきになつて居ります。

次に籠目と云ふ細方を二時許りなさいます。御存じない方の爲に籠目の編方を一應申上げます。表

三、裏七表三裏七を繰り返してなさいます。最後が表三でござります。次に裏返して裏三表七裏三表七を繰り返します。第三段目は第一段と等しく表三裏七を繰り返しますと丁度表から見ますと表三裏七のものが三段出來たわけになります。次に一段裏許り

を致します。次に裏五をして表三裏三表三裏七を繰り返しますと終りが裏五で止ります。次は裏返して表五として裏三表七裏三表七を繰り返して終りが表五で止ります。第一段と等しく裏五をして表三裏七を致し又とほして裏を一段します。次に一番はじめにかへります。之を繰り返して二時位致します籠目を切りの好い處まで致しましたら後は又表許りをつづけて丁度幅と同じ長さになるまで即ち四角になるまで致します。次はわきあけでございます。

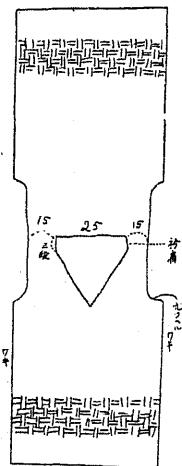
はじめる時に二目一度に致しますと一目減じたわきにになります。かく始める時始める時に一目づゝへらして左右九つづゝ減らしたら後はまつすぐには編んでわきあけが身丈の三分の一になるまでつまりわきあけの下までの半分の長さまでに致します。

丁度七十三の目から左右に今九つづゝ減らしましたから五十五になりました。此五十五の中肩を十五だけ編みまして中二十五だけを肩明として留めてしまいます。留めます時は右針に左から二目だけ取つて初めの一目を後のにかぶせます。すると一つ目が留つたわけになります。又一つ左から右に移して先のを今移した目にかぶせますかくして二十五とめま

すと右針にも十五残ります。こゝで暫時左針を此ままにしてをして右針の十五を二段だけ編み三段目を始める時に一つ増やします。此三段位の加減のない間の中央が肩山になるのでござりますから肩山から折つてわきあけ方は後身に合はせて同じ傾斜になる様に九つ加やします。一方衿の方ははじめる時には一段おきに加やしておきあきと同じ處までふやしつつ編みます。こゝで又此方の針は暫時やすめて左の休めてあつた方の針をこり新らしい絲で始めます。はじめます時毛の尾はいつも中に編み込みませんと醜くなりります。右と等しくふやして參りまして右より一段少なく編みますと丁度針の先が右にむきますそこで左の編みかけの絲を二寸位で切つて右針の絲と一緒にして左右の前身頃をつないで編みます。後は後身のわきあけの下と同じ長さに同じ模様にあみあげます。最後に留めます時は二つ編んで初めの目を後の目にかぶせ次に又一つづゝ編んでは初めのをかぶせかうをして参り最後に残つた一つの目に絲のはしをこはして止めます。すべて切つた絲はかぎ針で中に入れます。絲をつぐ時はなるべく兩わきでつきます様に遊されますと見ようでございます。

次にわきはかぎ針でひきぬきで止めます。引きぬきとは先づ前後の身頃の裾を合せて(裏から)一番角に針を出して絲をすくひ、絲の尾を編み込んでこま編にせずに唯一枚透して目を出しては前の目に引きぬきます。かうしてわきあけの處で固く固くとめます。そして絲の毛を中にかくしてしまひます。

左右のわきがどちらも固くとめたら首を袖付の處ご裾ごをかぎ針を用ひて一段引ぬきをして手際をよく致します。



## 福岡幼稚園だより

私立福岡幼稚園長

荻野ヒサ子

鐵をも鎔かすてふ炎熱の暑さも早や忘れられ秋の朝の涼さに勇みに勇みて氣勢よく登園する幼兒の其天真の笑顔を見せられては世の何物をも之れに勝るものはあるまいと思ふ程快感を覺ゆるのは保育者一同御同感である事と存じます。

此好季節に當つて當市博多には九月三日突發的三十名の（一日中）虎疫患者が發生しました、漸次延蔓しまして遂に一周を出でぬ間に虎疫流行地と指定される迄になりました。各小學校は十日間各幼稚園は二周間を閉鎖したので有ます。暑中休暇中四十餘日幼兒に接せず淋しく暮した私等保育者は樂しく期待して居た幼兒の笑顔も又暫らく見られなくなつたのであります。

是より先き本年三月十九日はかしこくも國母陛下當地へ御行啓遊ばし給ひたれば我福岡幼稚園は之れを紀念すべく園舎の増築を起工いたしました。此程稍々外形の面目を改めたのです。けれども

未だ幼兒の要求を満すべき設備は整え得ないので居ます。否園主が私財を臺捨して僅に二十坪の一室を新築し加へたのですから設備費が無くなつたので有ます。之れを知つた桃太郎會諸君は七月十九日以來同志を語らい園の事業を援助すべく各自の労力を提供せん事を相誓はれたのであります。八月十九日に確實に決定しましたと私に報告を得ましたのは九月九日を期して

大音樂會を開催し入場會員の會費收入の純餘金全部を母園に寄贈して設備の完成を計らんと云ふに在るのです。

桃太郎會は苦心奮闘各方面の交渉を休暇中に終へねばならぬのですから夜を日に續いでも猶足りないので有ました。殊に今年の暑は九十七度を昇つたのです、而し此炎熱の暑に身を焦して東奔西走努力された。

其結果、主催桃太郎會、後援者九大フキルハルモ

ニ一會演奏者聲樂荻野綾子。ピアノ岩岡道子。ヴァイオリン榎博士(保三郎氏)伴奏者は中野喜代子と云ふ各先生に決まりました非常な前況で主なる演奏者は二人共福岡高女の出身で有りますから母校の同意生は殆んど後援者として援助されたのです晝夜二回の第一は女學校團體で二回は演奏者の母校同窓生と一般の聽衆と云ふ約束でしたしかし第三回の要求をされたのです全く申込學生を全部收容し得ない有様でした。第三回會場も準備する事に協議の最中

突貫的虎軍の襲來を受けましたのは誠に殘念でありましたが致し方も御座いませんでした。開會當日患者は市内百六名を累計したのです。而も會場は虎疫患者に包圍されて居るのです。茲に桃太郎會は憂愁のまゆを集め三難問題を協定すべく園舎に集まりました。一、公德上中止すべきか。二、延期すべきか三、事情餘儀なく舉行すべきか、と云ふので有ます。一つ困つた事には桃太郎會員は各階級の青年ではありますけれども過半は學生です、演奏者も教職の人であります。九月九日と云ふは切詰めた日子ですから延期は全然不可能であると云ふので餘儀なく舉行する事になりました。處が、又一打撃を受けました

のは九月七日の午前に各女學校は學生の外出禁止を勵行する事となつたのです。茲に第一回會場は全然空場を豫期せねばならなくなつたのです即ち一千八百五十枚猶不足と云ふ學生券は紙屑となりました。而し桃太郎君は窮策をめぐらして隨意學生券を出したのですがそれが前一日の八日で有ました。

開會當日は兎に角第一回は二百第二回は一千三百名餘の入場者を得られまして先づ盛會裡に終りを告げたのは不幸中の幸と一同悦びました此日は桃太郎會員男女三十五名と後援者二十三名で盡力されたのです皆

梅干を副食とした手辨當で働くかれたのは如何に眞剣の赤誠活動であるかを感じるので有ます。時節柄とてショーコー水の清め水等各所に配置し衛生上の注意も充分されて居ましたが若い人の一層の心使ひは氣の毒に思はれました。此の

|      |             |
|------|-------------|
| 收入總額 | 一千六百二十四圓八十錢 |
| 支拂總額 | 七百九十三圓〇七錢   |
| 純益總額 | 八百三十一圓七十三錢  |

九月十三日右の純益金全部を桃太郎會より福岡幼稚園設備費として寄贈されました。當園では

# 一 ピアノ

## 二 衛生施設

## 三 運動設備

## 四 感化材料繪畫

等に出來得るだけ使用したいと思つて居ます。終りに桃太郎會を御紹介します。

桃太郎會は私立福岡幼稚園の保育を了へた幼兒が成人した青年及婦人の有志の集團で有ります。年長者が本年二十六歳です。

會の芽生へは大正五年三月某日の夜一青年が名乗を立てゝ私(荻野ヒサ)を來訪されたのです青年の申されますには同窓の某々君(園の同窓)が先生が大そうお年を寄られて白髮で足下もよろめいて毎々門前に杖を頼りに立つて居らるゝのを見受るから一度訪問したらどうかと話し合つて居ましたけれども四名が同じ時に揃ふのが出來兼て居るのに私は遠方へ行く事になりましたから單獨お尋しました……

先生はお變りはない様ですね…………いやそれは老母をお見違ひでしたらう老母は七年前から中風ですからと大笑ひしました。

次に大正六年八月十日に五高在學の青年が前同名

乗りを立てゝ來訪されまして申されますには本月は孟蘭盆會の月ですが園児の死亡者の法要をしたいと今在福の同窓の年長者連中が申合せて居ますそれから一度舊先生方と一緒に舊誼を温めたないと話し合つて居るとの事で有りました、でも死亡者は正確に報告を得て居ないのが多く有りますから遺憾ながらあと廻しまして現在福中の有志青年が集まる事としました其月の二十四日に會しましたのが十七名の舊の子供と三名の舊保姆でした。次に次にと毎年集る事にして大正八年八月に集つた人等が、桃太郎會と云ふ名をつけたのであります。まだ會の形式は作つて居ませんが自然的漸進的に確く結ばれつゝ幼兒期の温情を離れぬ無邪氣の裡に大人らしい働きが出来る様に進んでまいりましたのは前途祝福すべき事と思ひます。桃太郎會の此度の精神的行動の一を御紹介致します。

前に申ました様に桃太郎會は今回音樂會の純益全部を母園に寄贈されたのですが又それと同時二十五年間勤績の小使婆さんに二十圓を割ひて功勞彰表老體慰安と云ふ美はしき意味を以て記念品代として贈りました。

桃太郎諸君はまだ若いのですから自分で働いて儲かつた金を使ふ人は此内に澤山は居ないので此金の使ひ方には大いに趣味が有つたらう思はれます。此金を自分で自由に使ふ事の出来るので處が誰が發案か一人の會員が白川婆さん（白川婆さんは白川ため女と云ふ私立福岡幼稚園創立以來の有名な小使さんです）此小使さんは誠忠無二の小使で幼児にも實に偽りのない親切でした今は老體の爲め休養して居ます二十九歳で良夫を亡くし三男二女を養育中二男二女に死別した不幸な老人です子供心にも

親切に取扱はれて居たのは感銘して居たらしく思はれます。満場一致誰一人異議者なく慰藉したので有ります。

#### 茶話會の日

時刻に婆さん會場に來ました桃太郎君の一人は直ちに二枚の座ぶとんを重ねて出しました婆さん三拜九拜老人の例として先だつは涙です遠慮勝ちに踞くと一人一人に前に出で、婆さんの耳下に口を寄せ顔と顔とを近づけて自己紹介様式に申しました、婆さんは井上ですかの腕白な井上です私は倉成です私は野村です私は太田です津田です……次から

次に近づいて頭をすり寄すれば婆さんはさらぬだに視力衰へて居るのであるに今日は涙で目が曇つてお顔は一つも見得ません皆さまボッチャマお嬢様大きくなりなされたよと云ふのが勢一ぱいで手拭で目を蔽いました暫し嬉し涙に默然と伏せ目になりました。暫時沈黙一同感無量桃太郎諸君も目を蔽ひました。

實に優しい催しで有つた事は偽りのない一場の有様で有ます。

#### 此日私の感想

私は元來子供が好きで性來弱い人の友達となり不遇な人の身方となることを唯一の娯みとして喜ぶのであります。其趣味に捕はれて茲に前後三十二年間身を此幼兒保育の事業に捧げました。いつも愉快に働くので有ますそれが今日反響的にかく澤山の身方を得まして報酬的誠意の活動を私に將た私の事業に捧げられて援助きれましたのは私としては決して他人とは思へません、多くの子供が大きくなつて膝下に歸り來たかの如くに温かく感するのみで有ます。

要するに幼稚園事業は其根柢を誠意ある眞の愛護に待つ事を事實に於てしみくと感じたので有ま

す。

園の將來 桃太郎君は私に申ます園の將來をお氣

遣なさいますな今五年を長命なさい身體を害さぬ様に桃太郎も一度は大人になります大人になつた暁には又は保育事業を徹底的安定せしめん事は今日よりお誓ひ申ますと此一言には將來の光明を豫期すべく感激いたしました。

今日の保育事業は人に生れた人を人間らしく育てる云ふ大責任ある事業ですから、すでに私等

の古びたる意味の保育は一個人の事業としては其

資力及學識が支へ得べきでない事は充分自覺して

居ます、けれども猶餘命のあらん限りは一の趣味として盡さん事の上については私等如き一定の職業に就かないでもよろしいと云ふ餘暇ある女の仕事として或は是れが好適事業かと思はれます。なぜならば趣味として樂しく働いて居るそれが不知不識の間に社會奉仕の一となつて居るのですから最も幸福な仕事と感じます。

右は一の報告に過ぎないのでありますが若し何等かの御参考になりますならば御一讀を願ひます。(記者此の御報告は掲載が遅れました。)

## ○秋の丸庭

チロ、チロ。チロ、チロ。チロ、チロ。

小さな聲で よい聲で

あちらと こちらと かはりばんこに、  
眞晝の庭で 蟻がなく

チラ、チラ。チラ、チラ。チラ、チラ。

眞赤な葉っぱ、黃色の葉。

紅葉と銀杏と、かはりばんこに

静かな庭に、散つてゐる。

(葛原幽氏作)

葛原幽氏作歌童謡小曲演奏會が去る五日東京高等師範學校講堂で開かれました。此の催しは第二回目でありまして、第一回の時に演奏されなかつたものゝみでしたが、氏の佳作の多いことには敬服いたえません。氏は實に此の方面の最初の開拓者であります。歌は、外山國彦、本居長世、弘田龍太郎、宮城道雄諸氏、いづれも當代、童謡作曲の第一人者の作曲であり、それが、可愛いらしい人々によつて歌はれたのであります。私も招かれて多數の熱心なる小さい聽衆の間に伍するの光榮と幸福を得ました。静かな子供らしい韻律の琴と尺八にあはせて、三人の少女によつて合唱された、此の小曲「秋のお庭」も今尚ほ耳に殘るものゝ一つです。(S.K.)

# 新案の幼稚園翫物

日本翫物教育協会

世の推移と共に幼兒教育も段々に文化的に赴いて

行くことは實に賀すべき現象であります。即ち「幼兒の教育は其自然の發達に適する環境を作り適當なる刺戟と好機會を與へるのであり」とフレーベルの引つつかまへた眞理を茲に實現するの時が來たのであります、吾人はフレーベル氏に向つて大に感謝せねばならぬと思ひます。

即ち我翫物教育協會は奉仕として現在各幼稚園に對して此の實行を容易有益ならしめん目的を以て鋭意翫物の考案研究の結果次に好適なる翫具を出すことが出来るやうになりました。

(1) 大日本政府 實用新案登録四四五四號

翫具

三角お手玉

(第一回發賣後先生方の御意見もありて大に改善をいたしました。)

お手玉は女兒の最も親しむ翫具でありますから幼稚園には是非必要であります。而して此お手玉は充

分幼稚園用として適するやうに製作してあります。

巖谷小波先生 お茶水附屬幼稚園主任阪内先生  
高崎平三郎先生 土川五郎先生 中村直氏先生 學

習院幼稚園主任宇佐美先生 倉橋惣三先生 久留島  
武彥先生 藤五代策先生 河野清丸先生 双葉女學  
校附屬幼稚園主任後藤先生 岸邊福雅先生 其他各  
家名流夫人大日本幼稚園協會婦女界社御推賞

既に全國各幼稚園に採用せられ 喜ばれて居ります。

(1) 幼兒に非常に喜ばれ仲よく上品に快樂に遊んでくれます。

(2) 扱方遊方はもう子供がよく知つてゐて自由に遊びます。

(3) 形が珍らしくそして取り易く搖り易く摘み易くそして上つた形が實に綺麗であります。

(4) 色も上品なそして感の靜かなよい色が幼兒の色感によい響きを與へます。

(5) 切地は厚い丈夫な絹であります。

(6) 縫方は所謂観物といふ頭でなく眞に幼兒の教育に與へる観物として縫代も多分にとり丈夫なシンガーミシンで叮嚀に洋服やエプロンを縫ふのと同じに縫ふてあります。

(7) 中味は小豆では蟲がつくそれにころ／＼すべて取り難いのであります。これは新しく研究し

た特別の材料を使つてあります。蟲は絶対につかず、音はさら／＼よし、おもさが落ちついてゐて頗る取り易いそれに切地や縫目を傷めない、これだけでも實にお手玉界の霸王であります。

(8) 價格としても決して他の商買品と同率の割出ではありません。

要するにお手玉界の權威であります、殊に幼兒教育を基礎として考案研究して發賣されたのは之を以

て嚆矢とするのであります。各幼兒の教育大家に寧ろ感謝されて居るのも決して偶然ではないと難有く思つて居る次第であります。

價格 (1) 一人用 三角美術箱七個入 十箱 四

圓五十錢

(2) 三十個入 生ボール箱入 一箱 二圓

十錢

(3) 五十個入 同 一箱 三圓

三十錢

(4) ガスマス製實用向 一箱五個入 十箱 一圓五十錢

但し送料は別に實費申し受けます。

(a) 美化されたる(豆囊)

從來の豆囊を美化したもので上品で綺麗でそして頗る快活に個人的にも團體的にも面白く遊べる観具であります。

色が赤と綠と紫の三個一箱入になつて居ります。

價格 壱個 四十五錢

一箱 一圓二十錢

但し送料は別

(3) 子供の作業前掛(一名幼稚園前掛)

辨慶編の丈夫な生地で簡単で一寸格構よく出來て居ります、此前掛をかけると如何にも甲斐々々しくて可愛い、殊に子供乍ら働き氣分になり自然に遠慮なく快活に遊ぶ様なるとは此前掛の特長であります。一ダース三圓五十錢、一枚四十錢、送料は別けます。

# シカゴ及コロンビア大學附屬幼稚園

倉 橋 惣 二

## ○シカゴ大學の幼稚園

私が満二年の間にアメリカ、イギリス、獨逸其の他の國々で観た幼稚園の數は相當に澤山あります。種々な良い印象を與へられましたが、今日此處では、比較的長い時間を費して、見學しました二つの幼稚園——シガコとコロンビヤ大學の附屬幼稚園——に就て、アメリカに流れている幼幼園教育の主なる傾向をお話しいたしませう。

もとより私がみました幼稚園の中には、之れ等二つの幼稚園より以上に、私として、氣にいつた幼稚園があり、又保姆の方々にしても、かへつて田舎の方々の中に、私として、尊敬したい人々が居られましたので、此の二幼稚園が、アメリカ中で一番よい幼稚園といふわけなのではありません。

御承知の如く、アメリカに於て此の二大學は教育大學として最も力を盡してゐる大學であります。その教育大學中に教育研究所として、此の幼稚園が設置されてあるのであります。

私は半年の間をシカゴ大學に送りましたが、幼稚園の建物が此處に附屬して居りましたので屢々此の幼稚園で實地研究をいたしました。大學の講義の方は主としてミス・テンブルが其任にあたり、實際方面には他の保姆の方が當つて居られました。

幼稚園はその部屋が第一に關係するものでありますから、先づ、部屋のことについてお話を致します。

中央に大きい室があつて、此の部屋は凡そ何坪位かあまり廣くはありません。丁度私が居りました頃は極寒でしたから、子供等は皆、厚い外套を著、厚い靴を履いて居りましたが、それ等は皆入口の廣い廊下室でぬいで、人々の戸棚に入れて居りました。凡てアメリカの學校では、銘々の戸棚があつて、自分で其の鍵を持つて居ります幼稚園では鍵は使ひま

せん。

中央の部屋の中には、砂箱と、ピアノと、先生の机とが置いてありました。つまり先生は自分の室で事務を執つて居られました。此の室の奥の稍小さい室には緑色のボールドがありまして、主として文字を教える所となつて居ります。次は押入の様な室で保育材料が入れてありました。その隣室は保姆の方の休養室とでも云ひたげな小さい部屋で、ミス・テンブルは常に此處に居ました。其の次の部屋には大形の積木が置かれてあつて、子供等は自由に出入してをります。之れが廊下につづいて居るのです。子供は皆で三十六人といふ事でしたが、寒い時であつたからで有りませう。二十四五人の出席者でありました。

さて、此の部屋々々で何をして遊ぶかと申しますと、こゝでは毎日一定のプログラムに依つて其の日の保育をして居りました。先生は、此のプログラムに従つて、十分乃至二十分位にきりながら腕時計を見ながら次から次へと、豫定の保育をプログラムに少しも違はぬ様にして居ました。斯うして朝九時から十一時までの時を子供と共に過すのであります。其の間に約二十分位の休憩があります。

音楽や遊戯をする時、一寸變つて居ると思ひましたのは、黒板に歌ふべき歌なすべき遊戯の名を書き、子供等はそれをみて、ピアノの鳴るのを待ちかまへてゐるといふ様子がありました。日本では、學校を始め一體に耳から聞いて種々な事を知るといふ風であります。アメリカの様な繁雜な所では、凡てが掲示組織になつて居りまして、銘々自分で氣をつけ其掲示を見るのです。即ち主として目から知るといふことが行はれて居ます。即ち此のやり方も幼稚園から、掲示を見る稽古をさせることになる譯でせう。

手工は、大體に於いて構成的で、その材料は大きな厚紙などを使つて、停車場、町の模型、人形の家などを作つて居ります。之れは保育をして社會生活、自然研究に連絡あらしめ様とする趣旨であります。日本の幼稚園、小學校等に於けるが如き、子供の製作品を、單に美術、工藝品として賞玩するのではなくながら次から次へと、豫定の保育をプログラムに

さて、そのつくられた停車場、人形の家、とかは廊下の一端に一段高い床の間の様なものを設けて、此處に並べてをき、そこに小さい町を營ませるとい

ふ風にして居りました。私が行つて居りました時は、丁度シカゴ市街をこしらへて居りました。かくの如く、アメリカでは一般に社会生活即ち、家の生活社会の生活を教育に取り入れてをつた事は、明かに認められる所でした。

それから、文字を教へると否との問題は、日本でかなり長い間の問題となつて居りましたが、あちらでは教へて居りました。之は、印刷した型の文字、アルファベットを並べて、易しい文句とか、歌とかを與へ、専ら読む力を養つて居りました。

十一時半になると、母、姉等が見えて或る者は暫らく先生と立話をしたりして、子供等をつれて歸ります。アメリカの幼稚園では大體お辨當といふものが無かつた様でした。

さて、以上が、シカゴ大學に於ける幼稚園の、極く大體の内容であります。二十分位の一度の中休みを措いて、プログラムの豫定通りに、次から次へと保育をして行くと云ふ事は、幼稚園生活を少しも無駄のない様にこの考へからあるとすれば、大變に經濟的な仕方であります。そして先生が此の様な仕方に少しも窮屈を感じないで、極く自然にし

て行かれるならば、此の方法も必ずしも悪くないかも知れません。しかし私には、此の方法の爲に先生がいつも追はれて居られる様に見受けられました。又、私の様に時間のゆつたりしたのが好きの者には少々うるさく感じられました。先生は、子供に現在の生活、乃至一人一人に就いて注意するよりも、自分のつくつた計畫に氣を取られ、時間に追はれるといふ様のこともありさうに見受けられました。

しかし、此處で最も感じました事は、此の様に複雑なプログラムを定め、此の如く正確に時間を追ひながらも、先生の態度の如何にも落ち著いて、平靜であつた事です。絶えまなく腕時計をみて居られる先生の、頭の中は、かなりに忙しいのであります。に、その態度の沈著に見えたのは、吾々として考ふべき種々な原因があると思ふのです。

先づ第一、建築其のものが、如何にもどつしりとした落著をもつて居た事であります。壁の色、敷物の色、器物、カーテンの色、凡てが厚味をもつた色の調和がしつくりとしてゐました。室内に日光が少く少しうす暗いことはいつてあります。が、それも電燈の光で落ちつきと柔らかさとを補はれて

居りました。窓には緑濃き常磐草の大鉢が列べてあります、室全體の空氣をうるほして居りました。その

中で、先生は、自分の卓をひかへて、居ましたが、私は落ちついた静かなおがあさんが、針箱の前に坐

つて、手を働かせながら、家中の子供を見守つて居られるのを見る様な感じをあたへられました。先生が、保育材料を整へるために、室々を右往左往しないといふ事は、かなりに幼稚園全體の空氣を静かにするものだと思はれたのでした。それに、先生達の聲も極く低いのでして、時には大學の方の女學生が三人位づゝ来て實習して居りましたが、何れも、極くさゝやかな聲で話して居りました、時々どんきようにひゞくのは東洋人の私の聲位なものでした。

先生の子供に對する態度は、人に依つて種々ですけれど、シカゴでは、一體に極く無表情であります。日本の様に取りつくろつてニヨ／＼するといふのではなくて、いつも同じ平常の態度を取つて居られ、而もそこに何ともいはれぬ親しさが包まれて居るのでした。

此の様にシカゴに於いては日本の幼稚園が學んでよい澤山の印象をあたへられた事がありました。

さて次にはコロンビア大學についてお話をいたしませう。

シカゴの大學と違ひますのは、シカゴは小學校の一部に、幼稚園が屬して居りましたが、コロンビアの方は、幼稚園及幼學年級といふ特別の部が出來て居まして、即ち小學の一、二年までを幼稚園の保姆の方が教へられる仕組になつて居ることでした。そして此の主任として、彼の有名なミス・ヒルがその任に當つて居られました。建物はシカゴと同じ様に教育大學の一部にありまして、先づ大學の大玄關を這入つて左側の明るい部屋が、此の幼稚園であります。其の室は可なり廣くて、此の中の一隅にはメリーゴーランドもあれで、滑り臺もあり、三つ計りの室内ブランコもあり、又其の反対の隅では積木をしてゐれば、又別の隅では製作をしてゐるといふ具合で、凡ては此の一室で行つて居りました。之れが先づ第一に、シカゴと異つてゐる所でありました。但し此の廣い室の他に極く幼い子供のための室があります。それ隣接して小學校程度の子供の室があるのです。そ

して、保育の方法もシカゴと異り、極く自由な、いはゞきちゃん／＼としないものでした、大體に於て私が後に主張して居りました處の小分團保育なのあります。それ故シカゴと比べたなら、稍々落著を缺いて居つたと思ひました。しかしミス・ヒルは、勿論その様な點を少しも苦にしては居られませんでしょ、私にも、それ程氣にからぬ程度のものでした。ミス・ヒルは自分の主義を明かに此の實際に表はして居られまして、女史の主義に依れば成人の目から見て多少落ち著を缺いて居るといふ事は、何でもないことだといふ風でした。但しアメリカでも此の點に對しては、或る一部の非難があるといふことをミス・ヒルもいふて居られました。

ところで、此の二つの幼稚園を初め、一般我國の幼稚園と比べて、一番物足りなく思ひますことは、之れらの幼稚園が自然に接する機會の甚だ少い事でありました。勿論あの繁華な都會の幼稚園としてそもありました。勿論あの繁華な都會の幼稚園としてそこの様な事は思ふ方が無理だともいへるのですが、美しい花の下や青い草の上に遊ぶ我が國の子供と比べますと、氣の毒に思ひます。それから、今一つどうも物足りなく思つたのは、わが國でも私共の最も

困難として居る事であります、児童の相互生活が未だ充分よく出來てゐないといふ事であります。我が國でも、子供對先生、子供對仕事といふことになつてゐて、子供對子供との生活が（自由遊戯の他で）充分に行はれて居らないのであります。あちらでも理論は進んで居ますが、充分實行といふ所までは入りきつて居らなかつたのを認めました。

## ○児童教育の研究

次に、此の二大學に於きました、児童教育を研究し、幼稚園保育者を養成して居りますが、それは大變に徹底的で大仕掛なものであります。殊にシカゴでもコロンビヤでも幼稚園の保育になる人は必ず小學校の一年二年を受け持ち得る人である様にして居ました。逆に小學一二年の先生が幼稚園に行けば立派な保育になれる様に教育せられて居るのでありました。實に此の二大學初め、他の場所でも幼稚園教育學がかかる位置を與へられ、児童保育者が斯くの如く教育されて居ると云ふ事は、我國に於ける狀態と非常な相違を感じたのでありました。

此の如く、アメリカに於て、幼稚園教育が新らし

い意義で盛になつたには、プロフェッサー・デュエーの力に依るものが多いのであります。氏は、シカゴ大学に於いて自己の學說思想を實現して後、コロンビヤに行きましたが、其の考へ、即ち、社會的な意志的な人間陶冶を主とする教育趣旨を幼稚園にも用ひたのであります。机を並べて知識を受けると云ふので無く、又斷片的に種々な事を覚え、様々な製作をすると云ふので無く、その日課の中に、その遊びの間に、社會生活の面影をうつさうとするのであります。氏の此の考は遠く溯つて見れば、もとより、フレーベルの思想の中にあるのですが、フレーベルの説は哲學的な人格本位教育であつて、従つて其の社會生活觀も、個人の人格を完全なものとして、その個人が集まつて一つのよき社會を創るといふのでありました。處が、現今は、非常に社會的生活を主體とする傾向になりまして、従つて教育も、個人的よりは一層社會的に考へねばならなくなつてしまひました。デュウェー教授は此に點に深く目醒めて、一面にはフレーベルの教育思想を尊重し、又一面あらゆる教育精神を取り入れ、教育をして社會生活に直接連絡あらしめるといふ事は、幼稚園より大學に

到る迄、即ち、すべての教育の共通基本原理なる事を認めたのであります。茲に於てアメリカの教育界に、一大新期を劃する様になつたのです。ところでのデュウェー教育の弟子の、ミスヒル、及びキルバトリック教授二人は、此の考へに基いて、社會的教育主義を幼稚園に實現さす事に力を盡したのであります。即ち、一般教育の原理なる社會生活を主體とした教育目的を幼稚園の日々の保育の實際に取り入れる事に盡力したのであります。そして、二人とも現に、コロンビヤを中心として大に活動して居るのであります。そこで、こゝに大に注意すべき一つのこととは、アメリカの幼稚園教育なるものは、我國の現今の如く、教育界の一孤島の如きものではなくて、大學中學及小學校と一貫したる連絡を保つて、堂々と行はれて居る事實であります。

斯くして其の昔、百餘年前に、創めて主張されたフレーベルの教育理想は、漸く只今アメリカに於て遺憾なく實現されて居るのです。一體、フレーベルは自分の思想を始めから幼稚園だけに實現しやうとした人ではありません。たゞその時代の教育界の状態、大きく云へば社會の情勢が、いまだフレーベル

の思想を教育全體に取り入れる迄に發達してゐなかつたので、止むを得ず一番取り入れ易い幼稚園にもつて行つたといつていゝのでした。彼は恐らく、自分の思想を幼稚園にだけきり實現し得なかつた事を遺憾に思つた事であります。彼に云はせたなら幼稚園に實現され得べきものは、小學中學にも應用出来るべきだと思つてゐたに違ひないのです。

此の如く幼稚園が教育學的にアメリカに於いて重視され、凡ての教育と連絡が取れてゐるのを見まして我國の幼稚園教育と、遙かなる距離のある事を痛切に感じさせられたのでありました。吾々には、まだ大きな仕事と責任とが残つて居ります。(講演梗概筆記)

## ○幼稚園小學校共通教育講習

東京市教育會主催にて輓近教育の基本的問題に關する左の如き講習會が本月十日から毎週水、金兩日、千櫻小學校にて開かれました。

### 講習要目

輓近教育の基本的問題

- 一、自發活動と目的活動
- 二、個人的性情と社會的性格
- 三、創造性と鑑賞性
- 四、教育方法としての「具體」
- 五、教育方法としての「自由」

講師は、東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三君  
講習員は東京市公私立小學校教員 幼稚園保姆、  
小學校幼稚園共通の基本的教育講習としての最初の催しであり多數の聽講者があります。

秋の朝を  
君何おもふ  
こども等の  
肩にも背にも  
あかるき此の日光。

(くらはこ)

## 雑 築

### ○獨逸フレーベル會のために

獨逸フレーベル會の窮乏に對して、同情ある寄附金募集の件は、別項に御覽の通りである。現在の獨逸の一般の狀態を知らるゝ人には、これは多く説明を要しない程、明かに同情せられることである。同會からの手紙が届いたのは、此の夏のことであつて、丁度その時開催せられて居た文部省保育講習會に於て、取りあへず、手紙の趣を會員諸君に傳へた時、同情は立どころに金五拾餘圓の寄附金となつたのであつた。それから後、大阪市に於て、市保育會主催の講習會で、同様手紙の趣旨を傳へた時、また、直に多數の同情を得て、金七十一圓七十七錢の寄附金となつたのである。同會の書中にも、特に東洋に於ける、幼兒の友たる同志に向つて、同情を求むると書いてあつた。誰れにでも求めて居るのではない。平生志を同ふして、フレーベルの精神を理解し、尊重して居る我々に向つて、特に書を寄せられるのである。記者は、獨逸に在つた時、親しく其の各種文化

事業の窮乏、殊に教育諸協會の事業の支障を見て居る。あの可憐な子供達のことも見て居る。諸君の同情を乞ふに當つて、其の裏書き者の一人となることが出来る。一人でも多數の方によつて此の趣旨を贊成せられ、多少なりまともつたものを、彼の名譽ある同志の會に贈りたいと願ふのである。(倉橋生)

### ○女學校同窓會の幼稚園

神奈川縣立高等女學校同窓會は、相澤校長其他會員諸君の熱心によつて、新たに幼稚園を新設して、天長節を以て開園式を舉げた。建築様式も、内部設備も、新意を用ふるもの多く、近來設立の幼稚園として、確に理想的なものである。幼稚園事業は今實に發達の新氣運にあるので、いろいろの種類の幼稚園の起ることを望ましく思ふが、高等女學校に附設せらるゝことも亦、最も喜ばしきことの一つである。それは幼稚園として、家庭的ならしめ得るに便であると共に、高等女學校の教育のためにも、極めて重要な意義を持ち得べきものである。本會も古くから、之れを主張しました希望して居たのであるが、今、學校直接の附屬ではないが、同窓會員の設立によつ

て、實は女學校に密接に結びつけられて居るのは、此の希望の一つの實現として、喜びにたえない。將來益々内部的に充實完成して、家庭主義幼稚園の一大模範となることを期待にたえないものである。

## ○信州上高井幼稚園

信州上高井郡内の各宗寺院聯合の奉仕事業として、幼稚園を新設せられたのも、近來の快事の一つである。各宗聯合事業といふ美はしい仕事としては勿論、寺院としての宗教的背景をもつての幼稚園を更に一つ加へたことも、斯界の欣慶事である。

## ○福島縣保育大會

福島縣保育會は郡山市、郡山幼稚園を會場として、十月十五、六、七の三日間の保育大會を開きて、大會會員、研究、保育講習（講師倉橋氏）と、最も充實したる會合であつた。福島縣保育會が、其の幼稚園の數に於て未だ必ずしも多くないのに拘はらず、常に活潑なる研究向上に熱心なることは敬服にたえないことである。

第一日 十月十五日

（午前八時半開會）

一、開會之辭

二、祝辭

三、議事

四、建議題

五、協議題

（午前十一時半マデ）

第二日 十月十六日

（午前八時ヨリ）

一、實地保育參觀

二、同 批評會

三、議事

（午前十時ヨリ）

四、協議題

五、談話題

六、研究發表

（午後四時マデ）

七、遊戲交換

（午後四時マデ）

八、閉會ノ辭

（午後六時ヨリ富士館ニ於テ幼稚園生活活動寫真觀覽）

第三日 十月十七日

（午前八時開會）

九、保育講習會

（午後三時マデ）

十、午後三時解散

（以上）

## ○松村博士の「童話及び児童研究」

松村氏の此の新著は、此の方面に於ける、最も真価あるものである。氏が神話傳説の學に於ける權威者であることは誰れも知るところであるが、其の科學的研究を基本として童話を取り扱ふ時に、児童研究の方面からの歩みよりをせられたことは、童話を

して眞に児童の童話たらしめる上に、最も喜ぶべきことであつた。しかも又著者も序に於て言つて居られる通り、童話は實に極めて多方面の綜合的研究によつて、初めて其の正しい理解の出来るものであつて、此の點に於て、此の書が有して居る多方面の綜合性とは、此の書を永久に大ならしむる所以である、近來の好著として、殊に、幼兒教育必讀の書として推薦するものである（東京　培風館發行、定價金四圓五十錢）

## ○「幼兒之研究」の發刊

「幼兒之研究」が久保文學士を主幹として、新に發刑せられた。廣い意味の幼兒期即ち、幼稚園及び小

學校幼年級の幼兒の研究を主とするもので、斯界のために、有益なる一機關を加へた譯である。時運の生む處とはいへ、我國の此の方面の發達のために、甚だ有力なる味方である。益々發展することを祈つて已まない。

## ○「大日本家庭幼稚園」事業

前文部次官田所美治氏夫人を園長として、多數婦人教育家諸君を理事として、「大日本家庭幼稚園」といふ事業が創められた。通信教授式によつて、母の栄といふ月刊雑誌と共に、玩具、繪本を月々家庭に頒布するのである。今までのところ、繪本も玩具も、苦心せられた新らしい點が多く、家庭に於ける幼兒のために、幸福を増すものと思はれる。幼兒教育のために、一種の新事業として其の發達を祈るものである。

謹 告

獨逸フレーベル會寄附

金募集

獨逸の現状がマルク相場の暴落によつて、如何に窮乏を極めて居るかは、諸賢のよく御承知のことあります。戦前我國の約五拾錢に相當した一マルクが、目下は僅に壹錢の價しかないのです。その氣の毒なること言語に絶するのであります。これがために同國內のあらゆる方面に於ける事業、殊に文化的事業は、非常なる打撃を被つて居ります。茲に諸賢の御同情に訴へんとする獨逸フレーベル會も其の一つであります。私共は、言はれないと豫て同情に堪えなかつたのであります。先般、特に獨逸著名の教育者諸氏の連署を以て、同會が資力の逼迫によつて、其の古き名譽ある事業に支障を受けて居る實情を具し、其の援助をもとめて來たに對し、更に其の同情を切に新たにしたのであります。同會の事業は幼稚園期兒童の教育と幸福の増進であります。従つて、其の同情を求め來つたのも、特に我國の兒童愛護者の粹を網羅して居るこいつてよい處の、日本幼稚園協會、日本兒童學會との諸賢に對

してやあります。我等ご志を一つにして、兒童のために思ひ、兒童のために盡力し、兒童を研究して居る此の獨逸フレーベル會のために援助するのは、すなはち、間接に可憐なる獨逸兒童の幸福のためにすることでありまして、切に諸賢の兒童愛護のお心に訴へたいと思ふのであります。

大正十一年十一月

日本幼稚園協會  
日本兒童學會

規定

一、御寄附金は十二月末日を締切りとすること  
二、御寄附の金高は多少に拘はざること  
三、御寄附金は兩會いづれにても御都合のよろしき方に願ひたきこと。

四、御送金の節は、「獨逸フレーベル會寄附金」の旨御明記下されたきこと。

五、すべての御寄附金は、兩會責任者に於て取りまとめ、兩會の連名を以て、獨逸フレーベル會に贈ること。

六、御寄金に對しては、日本幼稚園協會取扱ひの分は「幼兒教育」誌上に、日本兒童學會取扱ひの分は「兒童研究」誌上に報告し、全部の御報告は兩誌上に於て申上ぐること。

## ○本誌の充實と、讀者諸君へのお願ひ

本誌は讀者諸君の同情によつて、幼兒教育のために微力をいたして居るのであります。本年に於て更に其の内容を充實し、諸君の好意に酬ゐたいと思ひます。内容は主に幼稚園教育の原理及實際兩方面の研究をすることは從來の通りであります。實際に直接に役に立つことを一層多くします。以て幼稚園實際家諸君のために貢獻したいと思ふのであります。しかも、幼兒教育の問題はひとり幼稚園に限らず、また、其の各方面の協力によつて、幼稚園としても始めて完きを期し得るのでありますから、幼兒教育各般の問題に亘つて、其の記事を擴げなければならんと思ひます。それには、一つには家庭に於ける幼兒の問題が大切であり、一つには、社會事業及社會教育的方面に於ける幼兒問題が相俟つて主要のことあります。しかも、其方面に於て、適切なる雑誌がまだ少いのであります。本誌は從來も、此方面に注意して居りましたが、將來益々是等の記事を多くしたいと思ひます。また、幼兒教育が、今日の

意味に於ては、必ずしも學齡前のものに止まらず、小學校幼學年の教育を當然含むべきは更めて説くを要しないことあります。また、その研究、その眞の幼兒教育的改造と發達とを俟たずしては、幼稚園もその任務及び教育效果を完し得ないこともいふ迄もないことあります。よつて、本誌は、此の方面の問題にも進んでゆきたいと思ひます。

右の様の次第で、來年一月號以後の本誌は、聊か面目を一新したいと思つて居りますが、本誌の目的のある處を、少しでも有效ならしめるためには、廣く普及することが第一の必要であります。此の點に關し、讀者諸君の御盡力を煩さなければなりません。幼稚園關係者諸君は勿論、家庭の母方へ、また、社會事業として此方面に力をいたさる方々へ、一般に幼兒問題に興味を有たる方々に購讀をおすゝめ願ひ度いのであります。お一人が一人宛の勧誘をして下さつても、倍加の普及が出來ます。お一人數名を御勧誘下されば、即ち數倍加が出来ます。從來の御同情に對して、之れを一つにお願ひするのであります。

# 共益商店書店新刊

水谷式夫先生著  
幼兒才ベラ

雀の御宿

第一編 定價 金八拾錢

純然たるこどもさんのオペラです幼稚園小學校の御子さんにも容易にできるかはいい本書を是非御用意下さい

送 料 八 錢

水谷式夫先生著  
略譜 より本譜へ

定價金六拾五錢

略譜はやさしい本書は「六ヶ敷い」とお仰せになる方は本書を御覽なさい略譜と本譜が比較してあります故一讀判然

送 料 六 錢

福井直秋先生著  
ヘルプスト單唱歌

定價金六拾五錢

著者が自信ある作曲の發表です此頃自稱作曲家がものした駄本と御比較下さい如何に本書の内容が充實せるかを

送 料 六 錢

井上武士先生編  
二部合唱歌集

定價金九拾錢

井上武士先生が容易に歌はれる様に苦心して編纂せられしものです四六倍判歌曲二十有五曲皆有名の傑作曲集です

送 料 八 錢

水谷式夫先生著  
對話唱歌

第十三編寶槌  
第十四編花あらそひ

定價金參拾五錢

いよいよ第拾四編迄刊行いたしました本編は料を能狂言にとり其の爛熟せる内容は益々好評に全國に波及す

送 料 四 錢

北村泰三先生著  
小兒獨唱歌

定價金參拾錢

著者が初めて公表せられし各曲です歌は土井晚翠先生の作

送 料 貳 錢

松島教作曲

童謡  
か  
ら  
め

定價金參拾錢

學習院の先生で女流作曲家の白眉である著者の會心の作です歌はおなじみの法月歌客先生の作みるからに美しい本

送 料 貳 錢

○八五一京東振替 公益商店書店新刊進呈目録出版 東松町芝京區

# 東京府女子師範學校

## 附屬幼稚園御考案

### ピヨンタロカルタ

が立派に出来ました

- ◎小冊子に説明と遊戯法が載せてあります
- ◎唱歌の樂譜も付いてゐます
- ◎形が大きくて紙が厚く繪入色刷です

小冊子の序文中に田中同校主事曰く

△：：句といひ繪といひ頗るよく出來たので

△：：思はず感嘆の聲を放つた譯である：

著者たる同校保母の緒言中の一句に

△：：カルタが教育上少なからざる效果あるに係らず比較的重要視されなかつたのは其の内容及び表現法が幼兒の實生活に觸れない點があつたからでこのカルタは此の點に最も注意した：

發賣元 東京 九段 フレーべル館

